



神奈川県
教育委員会

KANAGAWA

わたくしたちの

生活と進路

平成 23 年度 ● 2011





はじめに

中学1年生のみなさん、入学おめでとうございます。

今、みなさんは、これからの中学校での学習や生活に対する期待と不安でいっぱいでしょう。中学校の3年間は、外見上の変化だけではなく、精神的にも大きく変化をするときです。

中学校で進路について学習するときに最も大切なことは、一人ひとりが自分自身を見つめ、自分の生き方について考え、将来に対する目的意識をもって、生涯しょうがいにわたってよりよく生きることができるような能力や態度を身に付けることです。そのためには、自然体験や社会体験、職業にかかわる体験などに積極的に取り組み、友人や上級生、先生や保護者、地域の方々など、多くの人たちとの交流を通して、さまざまな価値観や考え、生き方を学ぶことが大切です。

みなさんは、中学校生活で、日々の学習をはじめとして、進路、友人関係、部活動や健康といった様々なことを考え、悩むなやことがあるかもしれません。そんなときに、みなさんがこの冊子を参考にして、自らの生き方について広く深く考えていけることを願い、毎年、県内の新中学1年生全員に配付しています。ぜひ、これからの中学校生活3年間、みなさんの成長のために活用してください。

また、保護者の皆様みなさまもこの冊子をお読みいただき、一緒に学校生活や進路について話し合い、お子様にとって望ましい人間形成と適切な進路選択せんたくができるよう、御助言ごじょげんいただきますようお願いいたします。

平成23年4月

神奈川県教育委員会教育局支援教育部しえん子ども教育支援課長



もくじ

はじめに

1	充実した中学校生活をめざして ^{じゅうじつ} ……………	1
2	自分の生活をふりかえる ……………	3
3	学ぶということ ……………	5
4	地域の人たちとのふれあいを通して ……………	7
5	自分を知る ……………	9
6	夢の実現に向けて ……………	11
7	職業について知る（職業と資格） ……………	13
8	働く人々から学ぼう～職業講話・職場体験活動を通して～ ……	15
9	生き方を求めて ……………	17
10	「社会に出る」ということ ……………	19
11	高等学校の種類と学習内容 ……………	23
12	神奈川県公立高等学校入学者 ^{せんぱつ} 選抜 ^{がいよう} 制度の概要 ……………	26
13	特別 ^{しえん} 支援学校の概要 ……………	27
14	専修学校・各種学校など ……………	28
15	就学援助制度 ……………	29

[資料編]

神奈川県公立高等学校一覧 ……………	31
神奈川県公立高等学校にかかる諸経費等 ……………	34
公募 ^{こうほ} を行う県内の私立高等学校一覧 ……………	35
公募を行う県内の専修学校高等課程一覧 ……………	35
県内の特別支援学校一覧 ……………	36
県立中等教育学校一覧 ……………	37
県立職業技術校等一覧 ……………	37
県内のハローワーク所在地一覧 ……………	37
県内の教育相談機関 ……………	38
活動の記録 ……………	39

1 充実した中学校生活をめざして

新しい気持ちで、期待に胸をふくらませ、中学校生活がスタートしました。これからの3年間を充実したものにするためには、どのようなことを心がけて生活をしていったらよいのでしょうか。

自分の夢や希望を大切にしよう。

中学校に入学して、だれもが期待と不安を感じていることでしょう。豊かで充実した中学校生活を送るためには、夢や希望をもち、学習や様々な活動に積極的に取り組んで、自分自身の可能性を伸ばしていくことが最も大切なことです。



あなたの「中学校生活への夢や希望」を書いてみましょう。

様々な活動に挑戦しよう。

中学校には、教科等の学習はもちろん、生徒会活動、体育祭・文化祭・学習発表会・修学旅行といった学校行事、部活動など、様々な活動の場面があります。そのような場面で、仲間とともに活動することで信頼関係も深まることでしょう。

また、力を合わせて一つの目標を成しとげたときの達成感や喜びは、次の目標に向かって挑戦しようとする新たな気持ちを生み出します。様々な活動に取り組むことで得られる経験は、自分の成長につながる貴重なものとなり、中学校生活の大切な思い出になることでしょう。

あなたも、失敗を恐れず、様々な活動に積極的に挑戦してみましょう。仲間や先生、家族など多くの人があなただを支え、協力してくれるはずです。



中学校で「こんな活動に挑戦してみたい」と思うことを書いてみましょう。

思いやりの心を大切に、仲間とともに生活しよう。

学校では、それぞれ違った個性をもった人が生活をともにしています。多くの人の考え方をすることは、これから社会の一員として自立するあなたにとって、とても大切なことです。

まず自分自身を知り、自分のよいところを見つけましょう。そして、人と人とのふれあいを

大切に作る人間関係を、自分からつくっていきましょう。そのためには、周りの人のよいところも見つけ、お互いを理解し、認め合い、協力しながら生活していくことが大切です。個性を尊重し、互いに思いやる心を大切にすることで、あなた自身の個性を一層伸ばすことができるはずですよ。

基本的な生活習慣を身に付けよう。

「基本的な生活習慣」とは、何でしょうか。簡単に言うと、「よりよい生活を送るために必要であり、身に付けておくもの」のことです。それは、家族や先生のアドバイスを参考にしながら、最終的には、本人の努力によって得られるものなのです。「基本的な生活習慣」は、自分自身で意識して、毎日の生活の中でしっかり身に付けていくことが大切です。次の項目は家庭・地域や学校生活で大切な項目です。

■家庭や地域の中で

- 毎日規則正しい生活を送る。
- 家の手伝いを進んで行う。
- 社会のルールやマナーを守る。
-

■学校生活の中で

- 時間を守って行動する。
- 忘れ物をしないようにする。
- 自分の役割を自覚し、積極的に取り組む。
- 学校のルールや約束を守る。
- 人が嫌がることをしないようにする。
-

しっかりできていない項目は、これから努力しましょう。
また、このほかにも考えられる項目があれば書いてみましょう。

自分を伸ばすために「新しく挑戦してみたい」と思っていることを書いてみましょう。

家庭や地域の中で	学校生活の中で

あなたの考えを家族の人たちに読んでもらい、アドバイスをもらいましょう。

家族からのアドバイスとあなたの感想を書きましょう。

2 自分の生活をふりかえる

家に帰ると「勉強しよう」、「家の手伝いをしよう」と思いながらも、ついテレビを見て、なんとなく時間を過ごしていたことはありませんか。しかし、中学生になると、今まで以上に強く目標を意識して生活することが大切です。家庭での生活を充実させるためには、どうしたらよいでしょうか。

家庭での過ごし方

中学生になって部活動や委員会活動などが忙しくなり、帰宅時刻も遅くなったことでしょう。下校後の過ごし方をふりかえてみましょう。（たとえば昨日はどうでしたか。内容と時間を記入しましょう。）



帰宅した時刻（ 時 分）

＜内 容＞

- 学 習 _____ …… 計（ 時間 分）
 - 生活の時間 _____ …… 計（ 時間 分）
（食事・入浴や家の手伝いなど）
 - 趣味など _____ …… 計（ 時間 分）
 - 塾や習い事など家庭外の時間 …… 計（ 時間 分）
 - 睡眠の時間 …… 計（ 時間 分）
- 就寝した時刻（ 時 分）

毎日行うことの大切さ

スポーツの世界では「心・技・体」という言葉をよく聞きます。すばらしい成果をおさめた選手に聞くと、「心・技・体」の中で「心」を強くすることを、もっとも大切にしているのだそうです。では「心」を強くする方法とは何でしょうか。それは、自分が毎日やろうと決めたことを、毎日少しずつでもやり続けることだそうです。

「たとえ小さなことでも、毎日やり続ければ『やりきった』という達成感につながる。」
 「達成感はやがて『私はできる』という自信につながる。」
 「毎日続けることで、『やりとげる力』を身に付けていくことができる。」
 ということです。

今日から取り組めることを考えて書き出してみましょう。

例) 「毎日1時間学習する」、「夕食の片付けを手伝う」など



自分が取り組んでみようと思ったことを書き出してみよう。

学習など	取り組めることや家の手伝いなど
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・

家庭での過ごし方を考えよう

最近では、テレビやゲーム以外にも友人とのメールやインターネットなどに多くの時間をかける、という話も聞きます。「この時間帯は、ゲームなどをやらない」など、自分なりのルールを決め、行動に優先順位を付けるなどの工夫と計画、そして実行力が必要です。

次の点を考えながら、家庭での過ごし方を設計してみましょう。

- ① 学習の時間 (宿題や授業の予習・復習など)
- ② 生活の時間 (食事・入浴や家の手伝いなど)
- ③ 趣味・その他の時間 (テレビ、読書、音楽鑑賞やコンピュータ、携帯電話の時間を含む。)
- ④ 睡眠の時間 (生活リズムをくずさないよう、決まった時間に就寝・起床をしよう。)

(例：習い事のある日など)

の日

	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00 (時)

の日

	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00 (時)

自分の行動をふりかえて、実り多いものに

長続きの秘けつは、毎日の成果を表や日記に書くことで、自分の行動をふりかえる機会をもつことです。よりよい活動へと改善するためにも、ふりかえりの方法を考えてみましょう。

例) 計画通りにできたら「○」、できなかったら「×」を自己評価の()に書こう。

		学習など	取り組めることや家の手伝いなど
	月 日 [] 曜日	自己評価() メモ	自己評価() メモ
	月 日 [] 曜日	自己評価() メモ	自己評価() メモ

3 学ぶということ

「何のために勉強するのかな」「なぜ勉強しなければいけないのかな」などと思うことがありますか。私たちは、なぜ「学ぶ」のでしょうか。

私たちが勉強する理由について話し合ってみましょう。



あなたは今、何のために勉強していますか。

自分の考えに近いものを3つ選びましょう。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1 希望する職業に就くために必要だから | <input type="checkbox"/> 6 勉強すること自体が楽しいから |
| <input type="checkbox"/> 2 自分の力や教養を伸ばしたいから | <input type="checkbox"/> 7 「勉強しなさい」と言われるから |
| <input type="checkbox"/> 3 自分の将来に役立つと思うから | <input type="checkbox"/> 8 中学生は勉強すべきだと思うから |
| <input type="checkbox"/> 4 定期試験で力を出したいから | <input type="checkbox"/> 9 周りの人に認められたいから |
| <input type="checkbox"/> 5 高等学校や大学、専門学校などに進学するために必要だから | <input type="checkbox"/> 10 その他 () |



周りの人の意見を参考に、私たちが勉強する理由をまとめてみましょう。

中学校での「学び」は…

中学校での「学び」では、次のようなことが重要となります。

- ・小学校で学んだことをもとにして、社会の一員として必要なことを身に付けること。
- ・職業の意義や役割について考え、自分にふさわしい進路を選ぶようにすること。
- ・学校内外の活動に積極的に参加し、正しい判断ができるようにすること。

中学校での様々な「学び」は、これからの人生をより充実したものにするための知識や知恵となります。自分自身を高め、よりよい社会をつくるためにも考えていきましょう。



あなたの学習を確認してみましょう。

<学校で>

- | | |
|---|----------|
| 1 真剣 <small>しんけん</small> に授業に取り組んでいますか。 | <はい・いいえ> |
| 2 分からないところを先生や友人に聞いていますか。 | <はい・いいえ> |
| 3 どの教科も、かたよりなく取り組んでいますか。 | <はい・いいえ> |
| 4 ノートを整理して書いていますか。 | <はい・いいえ> |

<家庭で>

- | | |
|---|----------|
| 1 計画的に家庭学習をしていますか。 | <はい・いいえ> |
| 2 工夫 <small>くふう</small> して苦手な教科の学習に取り組んでいますか。 | <はい・いいえ> |
| 3 本や新聞、テレビなどの情報からも学んでいますか。 | <はい・いいえ> |

「好きなこと、興味をもったこと」からスタート

あなたには、好きなことや、もっと深く知りたいと思っていることはありませんか。学校のほかにも学ぶ場や機会はたくさんあります。自分の好きなことや不思議だなと感じたことについて、図書館や博物館などに行って調べたり、体験したりしてみましよう。

実際に体験することはとても大切なことです。新しく発見することや学ぶことの楽しさを味わうと、もっと詳しく学びたいという気持ちがわいてくると思います。

はじめは興味がなかったことでも、体験や人との出会いによって、興味が湧いたり、あなたの人生が大きく変わることもあります。

卒業生に聞こう！

<お菓子づくりが趣味だったAさん>

私は中学校時代、お菓子づくりが好きで、試作品をつくっては身近な人に試食してもらっていました。

現在は専門学校の先生としてお菓子づくりの指導をしながら、日々を楽しんでいます。



<スポーツが得意だったBさん>

私は中学校時代、部活動に一生懸命励みましたが、自己流でトレーニングをしていたので、高校では専門的に取り組みたいと考え、授業でスポーツ理論を学ぶことのできる高校に進学しました。進学先ではスポーツに集中することができ、充実した毎日を過ごしています。



学校で学んでいることのほかに、あなたや友人が興味をもっているものや、おもしろそうだと感じているものには、どのようなものがありますか。

<自分>

<友人>

ずっと続く「学び」…「生涯学習」

「学ぶ」ことは学校を卒業すると終わるわけではありません。社会の一員として自立した生活をするには、新しい知識や技術、考え方を身に付ける必要があります。また、自分の生きがいや心の豊かさを求めて新しいことながら「学ぶ」ことも大切です。学校で「学ぶ」ことに限らず、社会に出て働くことや興味のあることなどについて、自ら学んでいくという「生涯学習」の考え方が欠かせません。

これからの人生を、充実して過ごすためにも「なぜだろう」という疑問を大切にしながら、自分から進んで、「学び」・「考え」・「行動しよう」とする姿勢をもち続けましよう。

<英語力を伸ばしたいCさん（35歳）>

仕事上、英語が必要で、はじめのうちは苦勞していました。2年前から、仕事が終わった後、英会話の教室に通って勉強しています。以前よりも仕事に生かせる機会も増えてきました。もっと上手に話せるようになりたいと思っています。

<パソコンを勉強するDさん（70歳）>

パソコンの勉強をしています。仕事で使っていたころとは違う使い方を、本を読みながら勉強しています。

毎日、新しい発見の連続です。



4 地域の人たちとのふれあいを通して

私たちは地域で多くの人たちとかかわりながら生活しています。地域の人たちとのふれあいを通して学んだことや感じたことを発表しあい、地域の人たちとふれあうことの大切さや、自分にできることを考えてみましょう。

地域の人たちと交流する ～地域の活動に参加して～

みなさんは、地域の活動に参加したことがありますか。例えばマラソンなどのスポーツ大会、祭り・踊りなどの伝統行事、清掃などの奉仕活動、高齢者の方々との交流会、街頭でのあいさつ運動、町内会の防災訓練など、様々なものがあります。

また、総合的な学習の時間での体験や生徒会主催行事での経験なども話題にしてみましょう。

下の表に、自分の経験を思い出して記入し、発表してみましょう。

また、友人の体験談を聞き、印象に残ったものを空らんにもメモしてみましょう。

 分類	活動の名前や内容	参加して感じたこと
例	朝のあいさつ運動	自分からあいさつするのは恥ずかしかったけれど、回を重ねると多くの人があいさつを返してくれてうれしかった。町の人たちが明るくなった感じがして、参加してよかった。
スポーツ		
伝統文化		
奉仕活動		
福祉活動		
その他		

 メモ：友人の体験談で印象に残ったもの

地域の活動に参加しよう ～自分を成長させるチャンス～

私たちが毎日生活している地域にはいろいろな人が住み、よりよい町づくりを目指して多くの活動が行われています。

こうした活動に参加したことで、皆さんは今まで以上に地域の人たちが身近な存在として感じられ、また、いろいろな考え方や生き方を知り、広い視野をもって行動する大切さ、すばらしさについて学んだことでしょう。



これからも地域の活動を知り、積極的に参加しましょう。

いま自分にできること、心がけたいこと

あなたが地域の一員として「活動してみよう」あるいは「心がけよう」と思うことは何ですか。一人では難しくても、仲間と協力すればできる活動でもかまいません。実際に取り組めるものを書いてみましょう。そして、それを学級の人たちと話し合ってみましょう。

	タイトル	活動の内容や心がけたいこと（地域への ^{こうけん} 貢献や ^{かか} 関わり）

話し合いを終えて

今回の話し合いを通して、自分と地域とのつながりや自分自身について、改めて気付いたことや感じたことがあると思います。簡単な文章にまとめて、下を書いてみましょう。

.....

.....

.....

.....

5 自分を知る

自分の個性や良さに自分自身で気付くことは大切なことだといいますが、どうすれば自分の個性や良さを見つけることができるのでしょうか。

誰にでも、その人にしかない個性や能力、良さがあります。でも、自分自身で気付くことは難しいことです。自分の個性・能力・良さを知る一つの方法として、自分のポートフォリオを作成することがあげられます。

ポートフォリオとは？

紙ばさみとか書類カバンを意味する言葉です。自分がこれまで行ってきた活動などを一つのファイルなどにまとめたものをポートフォリオといいます。まず自分についての資料をできるだけたくさん集めましょう。

集めてみよう

ポートフォリオに入れるものは、自分に関連があるものなら何でもよいのです。小さいころの写真や幼いころのことを記録したもの、他にも、自分が大切にしていたものや好きだったおもちゃ、小学校のときの作文や作品など……。

探してみると、いろいろなものがみつかります。そのほかに、自分で地道に続けている活動の中にも、自分らしさを知る手がかりはたくさんあります。



ポートフォリオの項目 (例)

- 思い出の作品 (絵、作文など)
- 得意なこと
- 得意な教科
- アルバムの中から思い出の場面
- 文集の中から将来の夢
- 大切なもの
- 表彰されたもの



大切なもの
「ななかま」
私の大切なものは共に日々
過ごしている次を案部の
個性豊かなななかま
です。



得意なこと
私の得意なことは合唱
です。上手ではなれませんが
楽しい気持ちで
なれます。

楽しかったこと・
修学旅行です。
すべし、軽人、赤い鳥居の
中を歩いたこと。
山頂でした。

得意な教科
わたしの得意な教科は
社会です。
自分の住んでいる地域や場所、今
までの歴史やリ次にはいかに
うと思うからです。

6 夢の実現に向けて

みなさんは、夢やあこがれはたくさんありますか。自分の将来のことについて、具体的に考えたことがありますか。夢の実現に向けてどのようなことに取り組んでいくとよいのでしょうか。

人生の先輩から

みなさんと同じ年ごろには、人はさまざまな夢をもつものです。大人になってから、夢を実現させた人もたくさんいます。みなさんの周りにもそういう人がいるはずですが、実現までの長い道のりの中には、きっとさまざまなことがあったことでしょう。

夢を実現させた人たちは、ちょうどみなさんと同じ年ごろのとき、どのようなことを考え、行動していたのでしょうか。「先輩の人生から自分の未来を探ること」は大切なことです。

身近な「人生の先輩から」の文章を読んでみましょう。

私は、交番に勤務している警察官です。毎日、住民の方の相談や落とし物の対応、道案内などでいろいろな人と接するとき、相手の立場に立って、親切な対応を心がけています。パトロールも重要な仕事のひとつで、事件があればいつでも駆けつける体制をとっています。他にも仕事がたくさんありますが、どれも住民一人ひとりの安全な生活を守る仕事です。いつも平和な町づくりのために働きたいと思っています。

この仕事に就きたいと考えたのは中学生のときで、「自分自身が直接社会のためになる仕事をしたい」と思ったからです。実際に仕事に就いてみると「人のためになる」ということは本当に難しいことで、簡単なことではないということも分かりました。また、社会的な責任の重さは、実際に働いてみて分かったことです。

中学生時代には、まず、興味がある仕事についていろいろと考えたり、調べたりしてみるとよいと思います。いろいろな仕事のおもしろい面、大変な面を考え、自分が就いてみたい仕事が見つかったら、どうしてその仕事なのかをよく考えてみてください。そして、どうすればその仕事に就けるのかを調べたり、実際にそこで働く人の話を聞いたり、どのようなことをしているのかを見るのもよいと思います。世の中にはいろいろな仕事があります。どのような仕事があるのかを知ることも大切です。多くのことを知ることは、将来、どのような仕事に就いても必ず役に立つはずですが、

「見つめること」が未来への第一歩

自分の未来を切りひらくためには、今の自分をふりかえり、自分自身をしっかり見つめて、自分のもっている「可能性」を伸ばすことが大切です。今の自分をふりかえることは、自分が将来何になりたいか、自分はどんな可能性をもっているかなどを知ることにつながります。



今の自分を見つめてみましょう。《こんなことに夢中です》というものは何ですか。書いてみましょう。

考えてみよう！これからの自分

今の自分を見つめてみることはできましたか。次は、自分の未来を予想してみましょう。みなさんは「人生」という舞台の主人公です。自分の舞台を自分の手で作りあげていくためにはしっかりした設計をすることが大切です。自分はどんな可能性をもっているのか、将来何になりたいかなどを考えながら、自分の未来の予想図を描いてみましょう。



<自分の未来は自分でつくる>

それぞれの年齢ねんれいのとき、「何をしているか」、「何をがんばっているか」、「決断やチャレンジしたいことは何か」、「努力していることは何か」、「大切にしていることは何か」、などのことを書いてみましょう。

<自分の未来の予想図> (私は将来何をしています?)

「進路の学習」そのものが「生き方の探求」

「進路の学習」とは、どんなことでしょうか。近い将来の進学や就職について学んだり、考えたりすることは大事なことです。同時にそれは、「どのように生きていくか」つまり、「生き方の探求」そのもののことでもあります。未来に向かって「自分の可能性を伸ばす」ことや、少し立ち止まって「今の自分をふりかえり、自分を見つめる」ことのどちらも大切なことです。

7 職業について知る（職業と資格）

みなさんは将来どんな職業に就きたいのか、決まっていますか。ここでは、世の中にはどのような職業があり、どうしたらなれるのか調べたいと思います。

職業について知るには、家族や地域の方の話を聞いたり、実際に職場を見学することが大いに参考になります。ここでは図書やインターネットなどの豊富な情報を利用し、世の中にはどのような職業があるのかを調べてみましょう。また、友人と話し合っ、自分の興味・関心がある分野に関連する職業について、まとめてみましょう。

身近な人の職業を調べてみよう

<どの様な仕事があるか見つけてみましょう>

	働いている人	職業	働いている人	職業
	【例】知り合いの方	獣医師 <small>じゅういし</small>		

様々な職業分野をまとめてみよう

<見つけた仕事を、友人と話し合っまとめてみましょう>

	興味がある分野	関連する職業	関連する職業が他にもあれば記入しよう
	自然や生物	漁師、気象予報士、獣医師	
	文化や芸術	音楽家、伝統工芸師	
	人や社会	教師、医師、ホームヘルパー	
	情報や社会	新聞記者、システムエンジニア	
	ものづくり	大工、農家、機械設計技師	
	乗り物	パイロット、自動車整備士	
	ファッション	モデル、スタイリスト	
	スポーツ	スポーツ選手、トレーナー	

職業の中には専門的な知識や技能を必要とするものもあります。それを身に付けている証明として資格や免許があり、一般的には、専門の学校で単位を取得したり、専門の試験に合格したりすることで得ることができます。

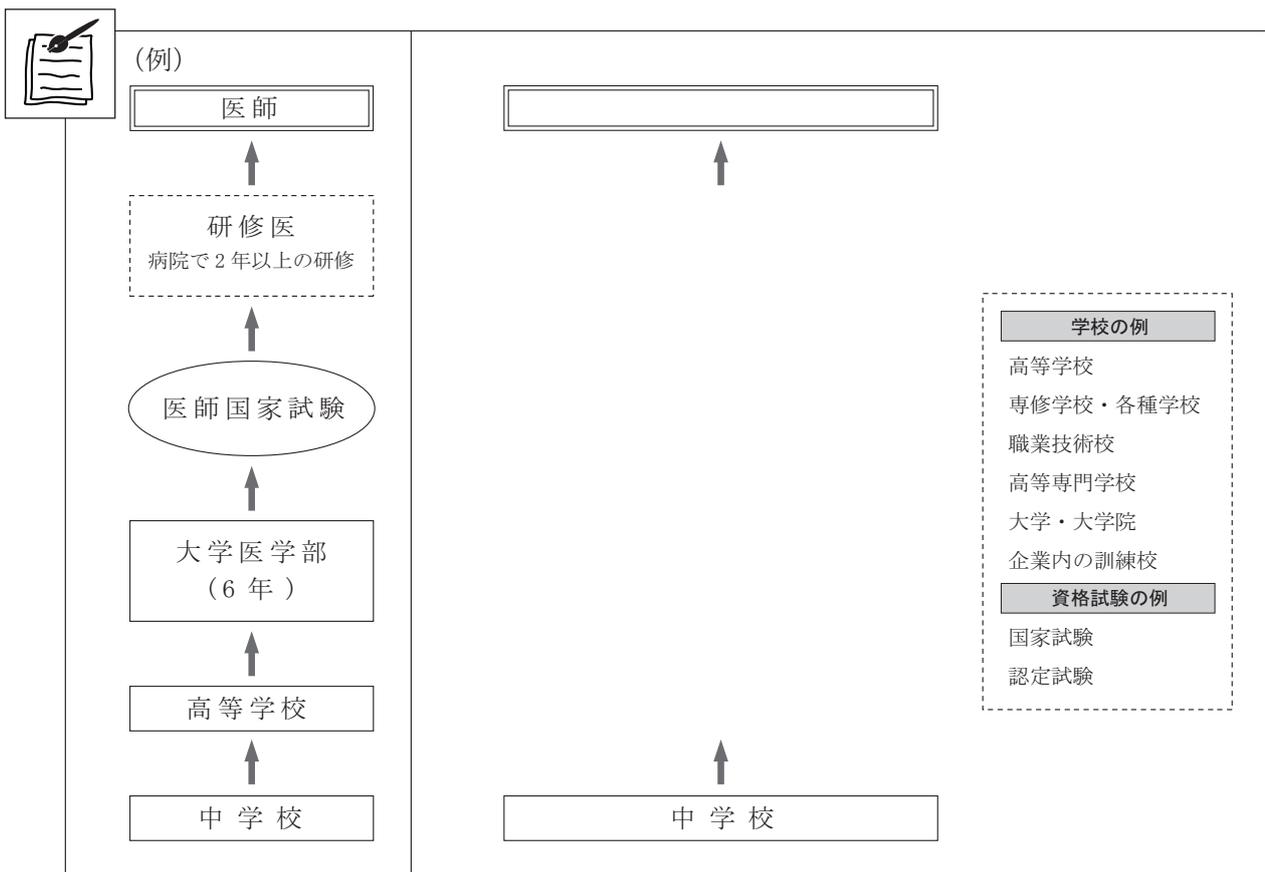
職業に就くために必要な資格や免許を調べてみよう

興味・関心のある職業や身近な人の職業の中から、資格や免許が必要なものを選び、取得する方法をメモしよう。

職業	資格・免許など	資格・免許を取る方法
【例】医師	医師免許	大学医学部で6年間学習・実習する（単位取得） 医師国家試験を受験し、病院で研修する（免許）

職業に就くための道を図で表わしてみよう

＜興味・関心のある職業を1つ選び、その職業に就くための道を図で表してみよう＞



学習をふりかえって

調べたことを互いに話し合い、感じたことを書いてみましょう。

.....

.....

.....

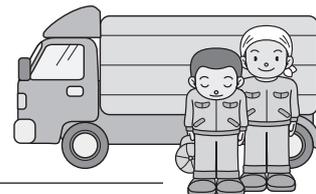
8 働く人々から学ぼう ～職業講話・職場体験活動を通して～

人は必ず誰もが社会の中で役割をもつようになります。その人の個性を生かす仕事があるはずです。職業講話や職場体験活動を通して、生き生きと働く人に接し、働くことの喜びや意義を学びました。その活動をふりかえり、あなたにとって働くことはどういうことか考えてみましょう。

私の知っている働く人

～私があこがれている身近な人、仕事をしている姿に感動したこと～

あなたの身の回りで、仕事をしている人を見て感動したり、素敵だなと思ったことを紹介してください。



<例> テキパキと指示を出す電化製品搬入員はんにゅう

購入した大型冷蔵庫が私の家に搬入されました。大きな冷蔵庫を狭い廊下ととても入りそうにない台所に、2人で見事に運び入れてくれました。1人はアルバイトのようでしたが、もう1人の正社員が、こまかく的確に指示を出して慎重しんちょうに運んでくれました。狭いスペースにきちんと設置された冷蔵庫を見て、さすがプロだと思いました。搬入後の冷蔵庫の説明もとても丁寧で分かりやすいものでした。冷たい飲み物を出したときは、笑顔でも気持ちの良いあいさつをしてくれました。

例の様に感動したり、素敵だなと思ったことを下にも書いてみましょう。

<

>



「職業講話」働く人々にお話を聞いてみましょう

[ねらい]

- ・ 様々な職業についての知識や情報を求め、職業についての理解を深めましょう。
- ・ 働くことの大切さについて理解を深めましょう。
- ・ 地域の人とのふれあいを大切にし、地域・社会の一員としての自覚を高めましょう。

職業講話の内容について

職業講話で聞いたことをまとめてみましょう。

 講師の先生の職業	
仕事のおもな内容	
興味・関心をもったこと とや大変だと思ったこと など	

職業講話の後の感想（例）

将来の夢はあるけれど、「働く」ということについてあまりよく分かっていなかったと思いました。そして、「働く」ことは、仕事をしてお金をもらうことだけではなく「責任」というのもあるということが、分かりました。責任をもつのは、大変で大切なことだということも分かったので、今回、講話を聞くことができてとても良かったです。

働くことってどんなこと

職場体験活動を通して、「働くことの意義」について考えてみましょう。

 職場体験活動で学んだこと 体験した事業所（職場）：	
	<ul style="list-style-type: none">・職場で一生懸命<small>いっしょうけんめい</small>に働いている人たちの姿を見てどんなことを考えましたか。 ・これからの生活（学習）で、大切だと感じたことはありますか。

 職場体験活動に行く前と行った後での、自分の考えの変化について書いてみましょう。	

9 生き方を求めて

私たちは、これまで自分の夢やあこがれ、職業など、将来のことについて考えてきました。そして、職場体験活動を通して働く人々から多くのことを学びました。ここでは、この体験活動から得たことを生かし、自分らしい生き方を見つけるために「働くことの意義」や「今の自分に必要なもの」「これからの学校生活に生かせること」を考えてみましょう。

働くことってどんなこと

近い将来みなさんも社会に出て働きますが、学校で過ごした時間よりはるかに長い年月を社会人として過ごします。よりよい人生を送るためには、しっかりした夢や目標をもって職業に就くことが大切です。今から少しずつ目標を考えていきましょう。



将来、どのような職業に就きたいと思いますか。→ ()

◎あなたは「働く」ことについて何を優先しますか。上位3つをあげてみてください。
また、「なぜ」この3つを選んだのか、教えてください。

- ① やりがい ② 給料 ③ 楽しさ ④ 特性、能力（専門性） ⑤ 労働時間
⑥ 安定 ⑦ 職場の雰囲気 ⑧ その他 ()

☆ 1位 _____ 理由→

☆ 2位 _____ 理由→

☆ 3位 _____ 理由→

◎あなたの選んだ理由を班の人や学級で発表（共有）してみましょう。
そして、友人の理由を聞いて、気付いたことや疑問に思ったことを書きましょう。

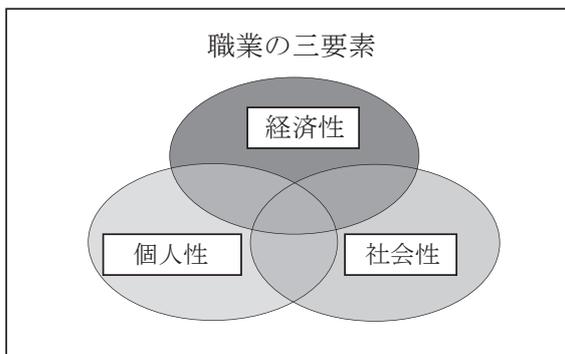
-
-
-

◎あなたの優先する内容は変わりましたか。変わった人はその理由を教えてください。

-

『人はなぜ働くのか？』

長い人生の中では、社会人として働く時期が大部分を占めます。「働く喜びを知る」ということが、「意欲をもって生きていく」ことにつながります。衣食住を満たすための経済性を求めるだけでは、心身ともに充実した生活を送ることはできません。職業の三要素として「経済性」「個人性」「社会性」があげられます。「経済性」とは、「働き収入を得ることで、生活を支えること」です。「個人性」とは、「目標や生きがいをもちながら、実りあるものにする」ことであり、「社会性」とは、「勤労によって社会に貢献すること」です。これらのことを踏まえて、「働く意義」について考えてみましょう。



「経済性」「個人性」「社会性」の3つの側面のどれに重きを置くかは、個々に異なります。また、仕事を続けるうちに、3つの側面のバランスにも変化が生じてきます。職業を選ぶにあたり、どの側面を重要視するかは、今のあなたが将来を見すえながら判断することです。



よりよく生きるために

私たちは、職場体験活動を通して、「働く」ことの意義について考えました。「今の自分に必要なこと」は何か、「これからの学校生活で大切なこと」は何かなど、将来に向けての目標や生きがいをもつことが大切です。みなさんは、今何を考え、大切にするのでしょうか。



これからの自分に必要なこと（がんばりたいと思うこと）は何ですか。



それは、どのような場面で（経験から）身に付けられますか。



今、将来に向けて一番大切なことは何でしょうか。
また、「夢」や「あこがれ」について教えてください。

夢をもって働くために

職業に就けば、その中でさまざまな困難や苦勞もあることでしょう。しかし、自分の個性や能力を發揮し、生きがいを得ることができます。私たちの先輩たちは、「職業人」として希望や意欲をもって「自分の力を伸ばしたい」「夢を実現したい」と努力を重ねています。また、その職業を選んだことに誇りを持ち、将来の自分の姿を見すえ、困難に負けずに自分の人生を切り開いていこうとしています。

10 「社会に出る」ということ

「社会に出る」とは、どういうことでしょうか。中学校在学中と卒業後では、いったい何が違うのでしょうか。就職する場合を中心に、心構えについて教えてください。

「社会に出る」ということ

「社会に出る」ということは、学校教育を終え、自分で選択した進路に向かって一步を踏み出すということです。

就職する場合、働くことにより収入を得るわけですから、職業に対する自覚や責任、視野の広さや礼儀正しさ、適切な人間関係づくり、常識ある言動といった社会人としてのモラルが求められます。また、よりよい社会づくりに貢献することも働く目的の一つであり、社会の役に立つことができる喜びを味わえるのは大きな魅力です。将来に向かい、自分が選んだ職業に誇りをもって、「このような職業人になりたい」という具体的な目標に向かい努力を積み重ねていくことが、自分の能力をさらに伸ばしていくことになります。

したがって、就職することは、自分の将来にとって重要な問題です。自分の将来の生活設計をしっかりと見つめ、よく考えて職業を選ぶようにしましょう。

○中学校卒業後の就職方法

就職の方法は主に2つあります。

<① 中学校を通してのハローワーク（公共職業安定所）の紹介による方法>

- ・求人のある会社の労働条件などを調べ、保護者、担任の先生と相談をします。
- ・関心のある職場を実際に見学して、就職したい会社を決め、入社試験を受けます。

<② 知り合いなどによる方法>

- ・これは知人が就職の面倒をみてくれるなど様々なケースがあります。

また、定時制や通信制の高等学校に通うことにより、働きながら高卒資格を取得することも可能です。（ただし、事前に職場の方と、学校に通える時間に仕事を終わらせてもらえるか等を十分に話し合う必要があります。）

ハローワークでは、希望者一人ひとりについて面接を行い、適性や希望を聞き、個々に職場を探してくれます。しかし、厳しい現実として、中学校卒業後の求人はあまり多くありません。

○就職活動のおおまかな流れ

11月…………… 本人の就職希望→進路面談（本人・保護者・担任）、職業相談の申し込み
（中学校で職業適性検査を受けておくとよい）

12月…………… 職業相談（本人・保護者・担任・ハローワーク職員）

12月～1月…………… 事業所の見学

ハローワーク職員と個別相談（就職事業所希望決定）→事業所の決定→
必要書類の作成→ハローワークへの提出

1月上旬…………… 採用選考（選考科目は事業所ごとに異なる。面接重視）
合格発表

【中学校を通して行われる就職の手続き】

求人情報の確認

ハローワークから学校へ送られる求人情報の確認

10月ごろに求人一覧が出ます。家族で話し合い、就職する意思がしっかりと固まったら担任の先生と相談して、自分の条件に合った就職先を選び、また職場見学を進んで行き、自分自身で確かめて職業相談をしましょう。

応募書類の提出

就職希望の事業所が決まったら応募書類に写真を貼り、ハローワークへ提出

ハローワークと学校とで相談したことをもとに相談票を記入し、就職希望の事業所が決まったら応募書類に写真を貼り、ハローワークへ提出します。(P.37参照)

採用試験

1月上旬から行われます。学科試験を実施するところや面接のみのところもあります。求人数は多くありませんので、時期を追うごとに選択できる企業が少なくなります。また、親せきや知人などの紹介の場合でもハローワークを通して手続きを進め、決定するのがよいでしょう。

【働きながら学ぶ】

※働きながら学ぶことができます。定時制高校と通信制高校、企業内学校等があります。

就

定時制 高校

多くの学校は、午後5時30分ごろに授業が始まり、午後9時ごろに授業が終わります。その後、部活動などもあります。一般的な修業年限は4年間ですが、最近は3年間で卒業できる学校も増えてきました。定時制高校の場合は、就職するときに「働きながら定時制高校で学びたい」との意思を企業にしっかり伝えることが大切です。

職

通信制 高校

教科書を使うほか、学習書を活用して、自分で学習することが中心となります。レポートの提出や高校に通うスクーリングで指導や助言を受けます。修業年限は3年以上です。また、卒業時に与えられる資格は全日制・定時制と同じです。

企業内 高校

企業が学校をもっているところで、仕事をしながら、教育を受けることができます。全寮制の場合があります。(数は少ない。)

神奈川県内のハローワークに関する案内のアドレス (ハローワークとは公共職業安定所の愛称です。)
詳しいことは、<http://www.kana-rou.go.jp/users/antei/shokuan.html> に掲載されています。

夢をもって働くために（自分にあった仕事選び）

職業に就けば、その中でさまざまな困難や苦勞もあることでしょう。しかし、自分の個性や能力を発揮し、生きがいを得ることができます。また、仕事に就いたら、生き生きとやりがいをもって長く働きたい。でも、仕事が合わないなど、早く辞めてしまう若者が多いのも現実です。世の中にはたくさんの仕事があり、厚生労働省の職業分類には約2万8千の職業名が上げられています。ですから仕事選びは、どういう仕事が自分にあっているのか「職業適性」をよく考えましょう。それには、「自分のことを知る」、「職業のことを知る」の両方が大事です。そして、仕事探しを上手に進めるには、まず、自分自身を知ることが大切です。そのために、

- ・今までしてきたこと
- ・今できること
- ・これからやりたいこと

などを検討しておきましょう。

自らの生き方・将来について考えよう。

将来、自分は「こういう人」になりたいと考えています。



私の将来の夢（就きたいと考えている仕事）は、・・・



その理由は、・・・



この夢（進路）を実現するための課題は、・・・



この課題を解決するために、次の点に気を付けて生活面・学習面で取り組んでいきたいです。



自分についてまとめよう。面接用



- 1 自分のよいところ（自分の^{とくちよう}特徴や長所）
- 2 中学校の学習で、特にここに力を入れたこと
- 3 学級活動や生徒会活動等の活動について
- 4 学校行事や部活動の取組について
- 5 学校外の活動について
- 6 持っている資格（検定）等
- 7 その他、努力してきたこと

履歴書の書き方（例）

- ◆履歴書は手書きが望ましいです。 ◆ボールペンでいねいに書きましょう。
- ◆間違えたら必ず書き直しましょう。 ◆誤字、脱字はないか、記入漏れはないか、必ず確認しましょう。
- ◆文字の上手下手ではなく、ていねいに書くことを心がけましょう。
- ◆履歴書、職務経歴書に用いる年号は、元号、西暦のどちらでも可能ですが、どちらかに統一しましょう。
- ◆職務経歴書で志望動機を書いている場合、履歴書の志望動機欄は省略しないで必ず書きましょう。
内容が職務経歴書と矛盾しないように注意してください。

日付
面接当日の日付を記入。
郵送する場合は投函日を記入。

写真
最近三ヶ月以内に写した証明写真。
モノクロ又はカラー。
枠にピッタリの大きさに貼る。スナップ写真は好ましくありません。

住所
郵便番号は7ケタ、マンション・アパートの名称、部屋番号まで正確に記入。

学歴

職歴
古いものから順番に記入し、会社名は略さず、正式名称を記入。
入退社は年月を間違えないように。アルバイト、パートタイムも期間の長いものは記入。

免許・資格
取得した順に正式名称で記入。取得予定がある場合はその旨記入。
(取得した資格だけでなく、新たな資格取得をめざしているという熱意がアピールできます。)

志望動機・特技など
自己アピールする欄。
職務能力、職務貢献、積極性などを記入。
仕事のことだけでなく、趣味や日頃取り組んでいることなども具体的に記入。

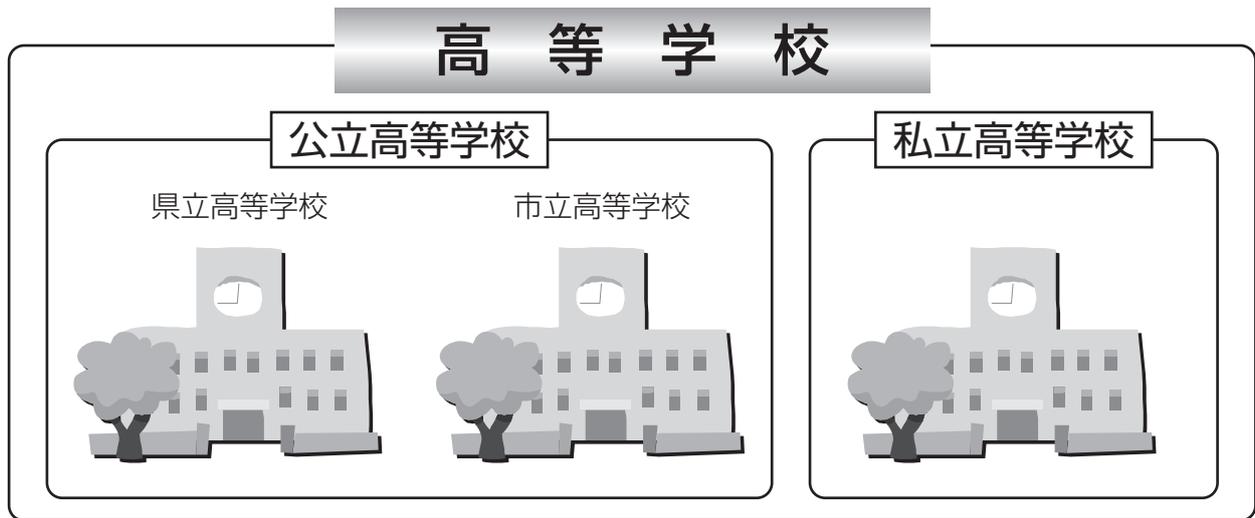
厚生労働省職業安定局ホームページより

11 高等学校の種類と学習内容

高等学校には、どのような種類がありますか。

公立、私立の違い

神奈川県内の高等学校は、設置者により公立と私立があります。公立は県や市が設置者となります。私立は民間の学校法人が設置者です。



公立と私立では、教育方針や費用など、様々な違いがあります。各校で特色ある高校づくりが進められているので、よく調べて選びましょう。

課程の違い

学習時間や学習方法などの違いで、次の3つの『課程』に分かれています。

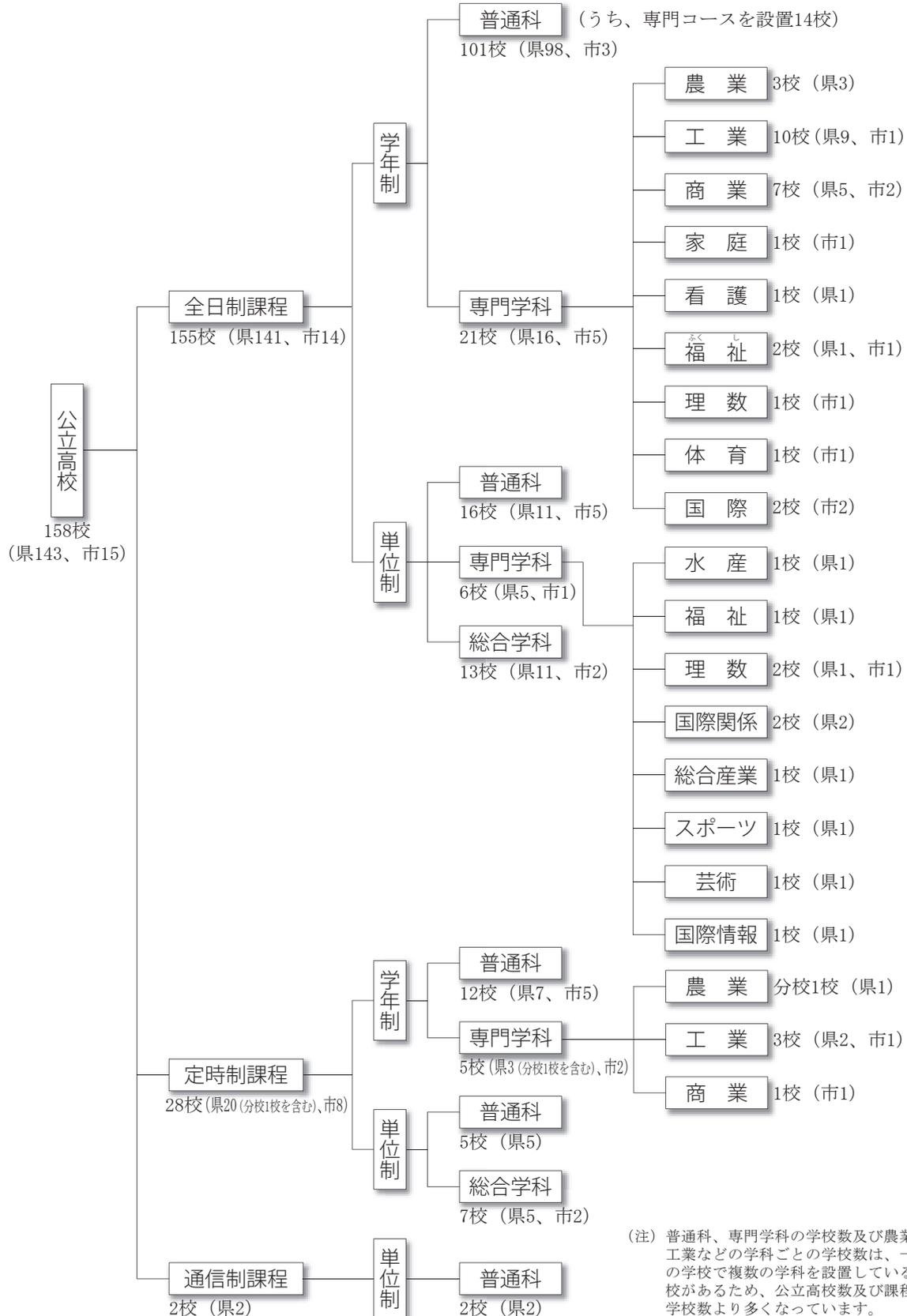
課程	特徴
全日制	中学校と同じように、朝から午後まで授業を行います。修業年限（卒業までにかかる年数）は3年間です。
定時制	夕方から夜にかけて授業を行います。また、一部、昼間に授業をする学校もあります。修業年限は3年以上ですが、3年間で卒業できる制度もあります。
通信制	教科書等を用いた自学自習が基本です。科目ごとに定められた数のレポート（報告課題）を提出し、添削を受けるという形で学習を進めていきます。月に2回程度スクーリング（面接指導）に出席し、勉強の仕方や内容について教わります。修業年限は3年以上です。平日登校してきめ細かな指導を受けたり、ITを活用したりして学ぶこともできる、県立横浜修悠館高等学校もあります。

■学年制と単位制の違い

学年制では、中学校と同じように1年ごとに進級していきます。単位制では、学年の区分がなく、必要な単位数を修得することで卒業できます。単位というのは、一定の学習量を表すもので、50分の授業を1年間に標準で35回受けることで1単位と数えます。

神奈川県^{みこみ}の公立高等学校（平成23年4月現在の学科・学校数）（見込）

- 神奈川県には、県立と市立をあわせて、158校の公立高等学校があります。
- 高等学校は、学習形態（学習時間、修業年数、学習方法など）の違いによって、全日制、定時制、通信制の課程に分かれています。
- それぞれの課程は、主に学習する内容によって、さらに、普通科、専門学科、総合学科に分かれています。



学科の違い

普通科 ふつう 普通科目を中心に学ぶ学科です。

普通科の特色づくり

普通科目の学習を中心としながらも、高校ごと、たとえば外国語など国際理解に関する学習や、環境かんきょうについての学習など、特色のある教育を行っています。また、専門コース、単位制普通科、フレキシブルスクールなど、一人ひとりの学習希望や生活スタイルに応じた学校づくりを進めています。

専門コース

普通科目の学習を主としながら、スポーツや芸術ぶくし、福祉など特定の分野のコースに関する専門的な科目を3年間で10～20単位程度学習します。(平成23年4月現在、14校に15コースを設置)

単位制普通科

学年の区分がなく、3年間で必要な単位数を修得することで卒業できます。

普通科目を中心に、幅広い分野にわたって設置される特色ある選択科目の中から、自分の興味・関心、進路希望にあわせて科目を選択し、自分の学習計画に基づいた時間割をつくることができます。

フレキシブルスクール

単位制のしゅくみを生かし、一人ひとりの生活スタイルや学習ペースに応じて、1日8時間や12時間の授業展開から、科目を選択できる柔軟じゅうなんなシステムです。

他校との学校間連携れんけいや社会人とともに学ぶ講座も積極的に設置しています。

多部制定時制高校

「午前部」または「午後部」に所属して、1日4時間の授業を受けて4年間での卒業を基本とする、昼間から学ぶことができる定時制高校です。

通信制新タイプ高校

通信制教育の特徴を生かしながら、IT環境を活用して自宅学習を中心に学んだり、平日の昼間に登校して学習指導を受けたりすることができる、新しいタイプの通信制高校です。

専門学科

将来のスペシャリストとして必要な専門的知識・技術の基本を身に付けるため、専門科目を25単位以上学習します。

また、専門的な学習を通して、さまざまな資格を取得することができます。専門学科には、農業・水産・工業などに関する分野があり、さらに、それぞれ小さな学科をもっています。

専門学科の魅力みりょくづくり

一人ひとりの進路希望や興味・関心に応じるため、「魅力ある学校づくり」を進めるとともに、これからの社会に対応する新しい分野の専門高校・専門学科じゅうじつを充実します。新たな専門高校としては、＜総合技術高校＞＜総合産業高校＞＜総合ビジネス高校＞＜国際情報高校＞＜海洋科学高校＞などのほか、1校に複数の専門学科を設置する＜集合型専門高校＞があります。

総合学科

普通科目と専門科目の両分野にわたって設置された特色ある科目から自分で科目を選択して、単位制のしゅくみによって学びます。自分の個性・適性を発見し、将来の進路を考える学習を重視し、原則として入学年次に全員が「産業社会と人間」という科目を学びます。体験的な学習や実習を重視した授業を展開しています。

12 神奈川県公立高等学校入学者選抜制度の概要

平成23年4月現在

「前期選抜」と「後期選抜」の2つの機会を設け、募集期間が同じ選抜では1校のみの志願とします。(定時制および通信制の二次募集を除く。)

また、「前期選抜」「後期選抜」とともに、すべての高等学校の全日制、定時制および通信制の課程で実施します。

前期選抜

すべての高等学校のすべての課程で、同一の日程で実施します。

- ☆ 調査書や面接（学校によっては、作文、実技検査または自己表現活動も）をもとに、<総合的な選考>を行います。
- ☆ 前期選抜は推薦ではありません。志願資格があれば、だれもが志願できます。
- ☆ 前期選抜を志願せず、後期選抜のみに志願することもできます。
- ☆ 志願変更はできません。
- ☆ 学力検査は行いませんが、すべての高等学校で面接を行います。面接の参考資料となる「自己PR書」は、クリエイティブスクール、県立相模向陽館高等学校を除き、必ず提出しなければなりません。
- ☆ 面接以外に、**作文、実技検査、自己表現活動**を行う高等学校があります。
- ☆ 同日程で、県立愛川高等学校の**連携募集※1**を実施します。(中学校長の推薦が必要です。)

※1 県立愛川高等学校の連携募集は、地域社会に貢献しようとする人材を育成することを目的とし、愛川町立の3中学校と連携して行うものです。

※2 クリエイティブスクールでは、今まで持っている力を十分に発揮できなかった生徒が、学習意欲を高め、卒業後も社会の一員として自らの目標を持てるような教育を展開します。

※3 後期選抜における【全日制普通科】の数値Cの算出について

調査書の学習の記録

$A = (\text{第2学年の9教科の評定の合計}) + (\text{第3学年の9教科の評定の合計}) \times 2$

※ 各教科の評定を一定の範囲（3教科まで各2倍以内）で重点化した数値とする場合があります。

学力検査の結果

$B = \text{学力検査（3～5教科）の各教科の得点合計}$

※ 各教科の得点を一定の範囲（2教科まで各2倍以内）で重点化した数値とする場合があります。

数値C

$C = a (\text{Aを100点満点に換算した数値}) \times m + b (\text{Bを100点満点に換算した数値}) \times n$

※ $m:n$ は、「4:6」、「5:5」、「6:4」の比率の中から各高等学校が定めます。

後期選抜

—前期選抜の合格者は志願できません。—

「全日制の課程」は単独の日程で、一部を除く「定時制の課程」と「通信制の課程」は同一の日程で実施します。

全日制の課程および定時制の課程

- ☆ 志願変更は1度だけです。
- ☆ 3教科～5教科の学力検査を行います。
(クリエイティブスクール※2を除く。)

【全日制普通科】
(「クリエイティブスクール」「専門コース」「単位制による普通科」を除く。)

数値を中心とした選考を行います。

第1次選考(80%)
数値C※3による選考

第2次選考(20%)
資料の一部が整わない人にも配慮した、各校が定めた選考基準による選考

【普通科専門コース】

【専門学科】(単位制を含む。)

【単位制による普通科】

【総合学科】

【定時制全学科】

(単位制を含む。)

各校が定めた選考基準による<総合的な選考>を行います。

学力検査以外に、**面接、作文、実技検査、自己表現活動**を行う高等学校があります。

【クリエイティブスクール(全日制普通科)】

- ☆ 調査書(評定を除く。)、面接および自己表現活動をもとに<総合的な選考>を行います。

通信制の課程

- ☆ 志願変更は1度だけです。
- ☆ 調査書、面接または作文(学力検査は行いません。)
をもとに<総合的な選考>を行います。

※「クリエイティブスクール」「専門コース」「単位制による普通科」は除きます。

13 特別支援学校の概要

特別支援学校は、どのような学校ですか。

特別支援学校では、障害のある子どもたちのさまざまな教育的ニーズに応じたきめ細かい教育を行っています。これらの学校では、子どもたちが、よりよく自立し、社会参加していくために必要な学習を行っています。

特別支援学校には、幼稚園部、小学部、中学部、高等部（本科、専攻科）があります。障害の状態により、学校に通って教育を受けることが困難な場合は、訪問教育を受けることができます。

学校の種類	特 徴
視覚障害 教育部門 〔高等部〕	視覚障害教育部門では、視力や視野などに障害のある生徒が学んでいます。学習するために、文字を「拡大する」ことや「手で触る」ことが必要な場合もあります。そのために、各種の教材教具を活用して学習を行い、高等学校に準じた教育や自立活動等を中心とする教育を行っています。また、日常生活や歩行のための訓練、点字や点字ワープロ等の指導も行っており、一人ひとりの可能性を引き出すよう配慮しています。高等部専攻科では、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師などの資格取得を目指した職業教育を行っています。
聴覚障害 教育部門 〔高等部〕	聴覚障害教育部門では、聞こえに障害がある生徒が学んでいます。補聴器等を使って、聞こえの力を最大限生かすための学習、話し言葉を身に付けるための学習、相手の口の形を見て言葉を読み取る学習などを進めながら、高等学校に準じた教育や自立活動等を中心とする教育を行っています。高等部には、普通科や多様な職業学科が設置され、自分の適性や希望に応じて知識技術を習得しています。職業学科では、デザイン、情報などを専門的に学び、高等部本科を修了してからさらに2年間の専攻科が設置されている学校もあります。
知的障害 教育部門 〔高等部〕	知的障害教育部門では、ものごとを理解・判断することに時間がかかるなど、知的機能の発達がゆっくりな生徒が学んでいます。一人ひとりの豊かな成長を図るため、いろいろな指導形態や方法を取り入れた学習を行っています。また、日常生活に必要な習慣や知識を身に付ける指導や、人とのかかわり方を身に付ける指導にも取り組んでいます。高等部では、教科等の学習のほかに、家庭生活や職業生活に必要な技能や態度を養うための学習や、職場実習などの経験を通して社会参加・自立を目指す指導が行われています。
肢体不自由 教育部門 〔高等部〕	肢体不自由教育部門では、手足やからだに不自由のある生徒が学んでいます。施設設備面で様々な配慮をしながら高等学校に準じた教育や自立活動等を中心とする教育を行っています。学習指導では、教材・教具を工夫したり、情報教育機器を活用しています。また、自立的な活動を促進するために感覚機能、運動機能などを向上させる指導にも力を入れています。障害の重い生徒も増えていることから、健康や安全に対してもよりいっそう配慮して指導にあたっています。
病弱 教育部門 〔高等部〕	病弱教育部門では、病気やからだの弱い生徒で、治療や生活規制が必要なため、長期にわたって病院に入院している生徒が学んでいます。一人ひとりの病状や体力等に十分配慮した上で、ベットサイドや病院内の指導教室、隣接の学校の教室等で教育が行われています。病気の状態や入院期間、情緒面にも配慮しながら、医療機関と連携してさまざまな教育が行われています。なお、病弱教育部門の高等部は訪問教育のみです。

* 公立特別支援学校については、授業料はかかりません。

* 特別支援学校については、世帯の状況に応じて就学奨励費が支給されます。

14 専修学校・各種学校など

専修学校・各種学校には、どのような学校がありますか。

高等学校以外にも、家庭や職場で役立つ実践的な技能の習得や資格を取得するための学校がいろいろとあります。

1 専修学校

「専修学校」とは、専門的な技能の育成や教養の向上を図るための学校の中でも、目的や修業年限などの一定の条件を満たした学校をいいます。

専修学校には、中学校卒業程度の学力をもつ人を対象にした「高等課程」と、高校卒業程度の学力をもつ人を対象にした「専門課程」があるので、間違えないように注意しましょう。

高等課程の主な分野と修業年限は、右の表のとおりです。

分野	特徴	修業年限
衛生(調理)	調理師免許が取得できます。	1・3年間
工業	電気工事士などの資格が取得できます。	3年間
商業実務	簿記・会計関係などの資格取得を目指します。	3年間
服飾家政	洋裁の学校があります。	3年間
衛生(美容)	美容師免許が取得できます。	3年間
文化教養	デザイン・音楽の学校があります。	3年間

専修学校の目的は、その専門の資格や技能を身に付けることです。ですから、専修学校を卒業しても、高校卒業の資格は得られません。そこで、さらに上級学校で技能等を伸ばすことができるように、上級の学校を受験する資格が得られる学校もあります。また、通信制高校との技能連携で、高校卒業資格を取れる学校もあります。10月くらいから募集を始めるところも多いので、取れる資格や費用なども含めて、早めに調べておくことが必要です。

2 各種学校

専修学校と同じように専門知識や一般教養を身に付けるための学校で、施設などの条件が専修学校の基準とは少し違っているものを、「各種学校」と呼んでいます。

教育内容・費用なども学校によってさまざまで、年によっては大きく変わる場合もありますので、調べたいときには、中学校の先生に相談し、最も新しい資料によってアドバイスを受けることが大切です。

3 職業技術校

職業技術校には、工業技術、建築技術、社会サービスの各分野のさまざまなコースがあり、職業に関する技術や技能を習得できます。さらに、就職先企業の紹介を受けることができ、就職に必要な面接の仕方なども身に付けることができます。訓練期間が1年のコースの一部と6ヶ月のコースは、新規に中学校を卒業される方もお申し込みいただけます。詳しくは、中学校の先生に相談してください。

4 その他の学校

これまで紹介したほかに、中学校卒業者を受け入れる学校としては、高等専門学校（5年制）や企業が独自に開いている訓練校などがあります。

どちらも、校数は多くないので、詳しくは、中学校の先生に相談してください。

専修学校・各種学校についての問い合わせ先	神奈川県民局くらし文化部学事振興課 神奈川県専修学校各種学校協会	電話 045-210-1111 (代表) 電話 045-312-2221
職業技術校についての問い合わせ先	神奈川県商工労働局労働部産業人材課 県立職業技術校各校	電話 045-210-5715 37ページ県立職業技術校等一覧のとおり

15 就学援助制度

高校に進学したいと考えていますが、学資の援助にはどのようなものがあるのでしょうか。

※ 29・30ページの内容については、平成22年12月1日現在の情報を掲載します。
これ以降の新しい情報については、先生に相談してください。

高校生の就学援助制度の概要

平成22年12月1日現在

I 県の制度

1 県教育委員会が行う奨学金制度

(1) 高等学校奨学金

- 県内に在住し、県内の高等学校等の生徒又は、保護者が県内に在住している生徒で、経済的に学資の援助を必要としている生徒に資金の貸し付けを行っています。
- 採用にあたっては選考を行いますので、応募要件を満たしている場合でも必ず採用されるとは限りません。
- 応募要件 世帯の年間収入が約800万円以下（4人世帯の場合）
（※ 主たる生計維持者の収入が約800万円以下であれば対象となる場合があります。）
- 卒業後、返還が必要です。
- 貸付月額 [国公立 18,000円又は20,000円、私立 30,000円又は40,000円]

(2) 高等学校定時制課程奨学金

- 働きながら、県内の定時制高等学校に通う生徒で、経済的に学資の援助を必要としている生徒に資金の貸し付けを行っています。
- 応募要件 本人の年間収入が279万円以下
- 定時制高等学校を卒業すると返還が免除されます。
- 貸付月額 14,000円

問い合わせ先 高等学校の学級担任、奨学金担当教員

神奈川県教育委員会教育局企画調整部学校経理課（045-210-1111（代表））

2 入学検定料等の減免制度

県立高等学校を受検する際には受検料（入学検定料）が、入学する際には入学金が必要となります。受検料及び入学金の支払いが困難な方に、全部または一部を減免する制度があります。詳しくは下記までお問い合わせください。

また、横浜市立、川崎市立、横須賀市立の各高等学校でも減免制度がありますので各市教育委員会にお問い合わせください。（34ページ参照）

なお、国の政策により平成22年度から公立高等学校（専攻科を除く）の授業料は原則徴収しないことになりました。そのため、入学後に授業料を納める必要はなく、手続きも一切ありません。

問い合わせ先 神奈川県教育委員会教育局企画調整部学校経理課（045-210-1111（代表））

3 母子寡婦福祉資金

- 母子家庭の母親又は寡婦の方で、経済的に困窮しているため、子どもの就学に援助を必要とされている方々を対象に資金の貸し付けを行っています。

- ア 修学資金として、修学に必要な資金で、月額 国公立 18,000円、私立 30,000円以内で必要となる額
イ 就学支度資金として入学に必要な資金で、1回 国公立 150,000円、私立 410,000円以内で必要となる額

問い合わせ先 市にお住まいの方は、各市の福祉事務所

町村にお住まいの方は、神奈川県の保健福祉事務所

4 私立高等学校等の学費支援制度

- 私立高等学校等に通う生徒について、国の費用により授業料の一部を軽減する高等学校等就学支援金制度があります。保護者の所得に応じて支給額が加算されます。

補助額 授業料（年額）118,800円（加算対象者はこの1.5～2倍）

- 県内の私立高等学校に在学し、かつ、生徒と保護者が県内に在住しており、所得が一定額以下の保護者を対象に学費の補助制度があります。

補助額 入学金 99,000円 授業料（年額）30,000～182,000円

- また、学年の途中で生計維持者の失職、会社の倒産、死亡、離婚等による家計急変となった方を対象とした、緊急支援補助制度もあります。

補助額 授業料（年額）59,400円又は118,800円

問い合わせ先 各私立高等学校

神奈川県県民局くらし文化部学事振興課認可助成グループ（045-210-1111（代表））

II 市町村の奨学金制度

平成22年12月1日現在

市町村名	名 称	問い合わせ先	電 話
横 浜 市	横浜市私立学校等就学奨励費(小・中学校のみ)	市教育委員会学事支援第一課	045-671-3270
横 浜 市	横浜市高等学校奨学金	市教育委員会高校教育課	045-671-3272
横 浜 市	横浜市身体障害者奨学金	市こども青少年局	045-671-4278
川 崎 市	川崎市高等学校奨学金	市教育委員会総務部学事課	044-200-3267
相模原市	相模原市奨学金	市教育委員会学務課	042-769-8282
横須賀市	横須賀市奨学金	市教育委員会学校教育課	046-822-8480
横須賀市	交通遺児奨学金	市教育委員会学校教育課	046-822-8480
逗 子 市	逗子市奨学金	市教育委員会学校教育課	046-873-1111 (内線) 514
三 浦 市	(財)寺本育英会奨学金	市教育委員会総務課	046-882-1111 (内線) 406
寒 川 町	寒川町奨学金	町教育委員会教育総務課	0467-74-1111 (内線) 513
厚 木 市	厚木市高等学校等修学旅行費支援金	市教育委員会総務部学務係	046-225-2650
大 和 市	大和市奨学金	市教育委員会学校教育課	046-260-5208
海老名市	海老名市奨学金	市教育委員会学校教育課	046-235-4918
座 間 市	座間市奨学金	市教育委員会教育管理課	046-252-8347
綾 瀬 市	綾瀬市奨学金	市教育委員会学校教育課	0467-70-5654
清 川 村	清川村高等学校等修学奨励金	村教育委員会事務局学校教育係	046-288-1215
平 塚 市	平塚市教育委員会奨学金	市教育委員会学務課学務担当	0463-35-8118
秦 野 市	(財)秦野ロータリー交通遺児等奨学金	市教育委員会学校教育課	0463-84-2785
大 磯 町	大磯町私立高等学校等就学支援補助金	町教育委員会子ども育成課	0463-61-4100 (内線) 328
二 宮 町	二宮町育英会奨学金	町教育委員会教育総務課教育総務班	0463-71-3311
南足柄市	南足柄市育英奨学金	市教育委員会総務指導課	0465-73-8034
中 井 町	中井町育英奨学金	町教育委員会教育課庶務班	0465-81-3906
大 井 町	大井町育英奨学金	町教育委員会教育総務課	0465-85-5015
松 田 町	松田町育英奨学資金	町教育委員会教育課	0465-83-7023
山 北 町	山北町育英奨学金	町教育委員会学校教育課	0465-75-3648
開 成 町	開成町育英奨学金	町教育委員会教育総務課	0465-82-5221
箱 根 町	箱根町育英奨学金	町教育委員会学校教育課	0460-85-7600
真 鶴 町	真鶴町入学支度金	町教育委員会教育総務課	0465-68-1131
湯河原町	湯河原町育英奨学金	町教育委員会学校教育課	0465-62-1100

※ 各市町村の奨学金制度の有無や内容の詳細については、各市町村に直接お問い合わせください。

III その他の助成制度

- 交通遺児育英奨学金
 (財)交通遺児育英会 奨学課 (直通:03-3556-0773、フリーダイヤル:0120-521-286)
 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1 平河ビル4階
- あしなが奨学金
 あしなが育英会 業務課 (直通:03-3221-0888)
 〒102-8639 東京都千代田区平河町1-6-8 平河町貝坂ビルあしなが奨学金

[資料編]

神奈川県公立高等学校一覧

平成23年4月現在(見込)

市区町村	高等学校名	郵便番号	所在地	電話番号	課程	学 科	普通科専門 コース設置校
横浜市鶴見区	県立鶴見	230-0012	横浜市鶴見区下末吉 6-2-1	045-581-4692	全	普通	
	県立鶴見総合	230-0031	横浜市鶴見区平安町 2-28-8	045-506-1234	単全	総合	
	横浜市立鶴見	230-0046	横浜市鶴見区小野町 6	045-511-3654	単全	理数	
	横浜市立東	230-0076	横浜市鶴見区馬場 3-5-1	045-571-0851	単全	普通	
横浜市神奈川区	県立神奈川工業	221-0812	横浜市神奈川区平川町 19-1	045-491-9461	全 定	機械、建設、電気、デザイン 機械、建設、電気	
	県立神奈川総合	221-0812	横浜市神奈川区平川町 19-2	045-491-2000	単全	普通	
	県立横浜翠嵐	221-0854	横浜市神奈川区三ツ沢南町 1-1	045-311-4621	全	普通	
	県立城郷	221-0862	横浜市神奈川区三枚町 364-1	045-382-5254	全	普通	
横浜市西区	県立横浜平沼	220-0073	横浜市西区岡野 1-5-8	045-313-9200	全	普通	
横浜市中区	県立横浜緑ヶ丘	231-0832	横浜市中区本牧緑ヶ丘 37	045-621-8641	全	普通	
	県立横浜立野	231-0825	横浜市中区本牧間門 40-1	045-621-0261	全	普通	
	横浜市立みなと総合	231-0023	横浜市中区山下町 231	045-662-3710	単全	総合	
	横浜市立横浜総合	231-0028	横浜市中区翁町 2-9-10	045-641-1725	単定	総合	
横浜市南区	県立横浜清陵総合	232-0007	横浜市南区清水ヶ丘 41	045-242-1926	単全	総合	
	県立横浜国際	232-0066	横浜市南区六ツ川 1-731	045-721-1434	単全	国際情報	
	横浜市立横浜商業	232-0006	横浜市南区南太田 2-30-1	045-713-2323	全	商業、国際	
横浜市港南区	県立横浜南陵	234-0053	横浜市港南区日野中央 2-26-1	045-842-3764	全	普通	健康福祉
	県立永谷	233-0016	横浜市港南区下永谷 1-28-1	045-824-2126	全	普通	
	横浜市立南	233-0011	横浜市港南区東永谷 2-1-1	045-822-1910	単全	普通	
横浜市保土ヶ谷区	県立光陵	240-0026	横浜市保土ヶ谷区権太坂 1-7-1	045-712-5577	全	普通	
	県立商工	240-0035	横浜市保土ヶ谷区今井町 743	045-353-0591	全	機械、電気、化学、商業、情報処理、国際経済	
	県立保土ヶ谷	240-0045	横浜市保土ヶ谷区川島町 1557	045-371-7781	全	普通	
	横浜市立桜丘	240-0011	横浜市保土ヶ谷区桜ヶ丘 2-15-1	045-331-5021	単全	普通	
横浜市旭区	県立希望ヶ丘	241-0824	横浜市旭区南希望ヶ丘 79-1	045-391-0061	全 定	普通	
	県立二俣川看護福祉	241-0815	横浜市旭区中尾 1-5-1	045-391-6165	全	看護、福祉	
	県立旭	241-0806	横浜市旭区下川井町 2247	045-953-3301	全	普通	
	県立横浜旭陵	241-0001	横浜市旭区上白根町 1161-7	045-953-1004	単全	普通	
横浜市磯子区	県立磯子工業	235-0023	横浜市磯子区森 5-24-1	045-761-0251	全 単定	機械、電気、建設、化学 総合	国際ビジネス
	県立磯子	235-0042	横浜市磯子区上中里町 444	045-772-0166	全	普通	
	県立水取沢	235-0043	横浜市磯子区水取沢町 938-2	045-772-0606	全	普通	
	横浜市立横浜商業	235-0011	横浜市磯子区丸山 1-22-21	045-751-5151	別科	理容、美容	
横浜市金沢区	県立金沢総合	236-0051	横浜市金沢区富岡東 6-34-1	045-773-6771	単全	総合	
	県立釜利谷	236-0042	横浜市金沢区釜利谷東 4-58-1	045-785-1670	全	普通	
	横浜市立金沢	236-0027	横浜市金沢区瀬戸 22-1	045-781-5761	全	普通	文理特進
横浜市港北区	県立港北	222-0037	横浜市港北区大倉山 7-35-1	045-541-6251	全	普通	
	県立新羽	223-0057	横浜市港北区新羽町 1348	045-543-8631	全	普通	
	県立岸根	222-0034	横浜市港北区岸根町 370	045-401-7872	全	普通	
横浜市緑区	県立霧が丘	226-0016	横浜市緑区霧が丘 6-16-1	045-921-6911	全	普通	
	県立白山	226-0006	横浜市緑区白山 4-71-1	045-933-2231	全	普通	国際教養・美術
横浜市青葉区	県立市ヶ尾	225-0024	横浜市青葉区市が尾町 1854	045-971-2041	全	普通	
	県立田奈	227-0034	横浜市青葉区桂台 2-39-2	045-962-3135	全	普通	
	県立元石川	225-0004	横浜市青葉区元石川町 4116	045-902-2692	全	普通	
横浜市都筑区	県立川和	224-0057	横浜市都筑区川和町 2226-1	045-941-2436	全	普通	
	県立荏田	224-0007	横浜市都筑区荏田南 3-9-1	045-941-3111	全	普通	体育
	県立新栄	224-0035	横浜市都筑区新栄町 1-1	045-593-0307	全	普通	
横浜市戸塚区	県立舞岡	224-0814	横浜市戸塚区南舞岡 3-36-1	045-823-8761	全	普通	
	県立横浜桜陽	245-0062	横浜市戸塚区汲沢町 973	045-862-9343	単全	普通	
	県立上矢部	245-0053	横浜市戸塚区上矢部町 3230	045-861-3500	全	普通	美術陶芸
	横浜市立戸塚	245-8588	横浜市戸塚区汲沢 2-27-1	045-871-0301	単全 定	普通 普通	
横浜市栄区	県立柏陽	247-0004	横浜市栄区柏陽 1-1	045-892-2105	全	普通	
	県立金井	244-0845	横浜市栄区金井町 100	045-852-4721	全	普通	
	県立横浜栄	247-0013	横浜市栄区上郷町 555	045-891-5581	単全	普通	
横浜市泉区	県立松陽	245-0016	横浜市泉区和泉町 7713	045-803-3036	全	普通	
	県立横浜緑園総合	245-0003	横浜市泉区岡津町 2667	045-812-3371	単全	総合	
	県立横浜修悠館	245-0016	横浜市泉区和泉町 2563	045-800-3711	単通	普通	
横浜市瀬谷区	県立瀬谷	246-0011	横浜市瀬谷区東野台 29-1	045-301-6747	全	普通	
	県立瀬谷西	246-0004	横浜市瀬谷区中屋敷 2-2-5	045-302-3535	全	普通	

注 「全」は全日制、「定」は定時制、「通」は通信制、「単」は単位制

市区町村	高等学校名	郵便番号	所在地	電話番号	課程	学 科	普通科専門 コース設置校
川崎市川崎区	県立川崎	210-0845	川崎市川崎区渡田山王町 22-6	044-344-5821	単全 単定	普通 普通	
	県立大師	210-0827	川崎市川崎区四谷下町 25-1	044-276-1201	単全	総合	
	川崎市立川崎	210-0806	川崎市川崎区中島 3-3-1	044-244-4981	全 定	普通、生活科学、福祉 普通	
川崎市幸区	川崎市立商業	212-0023	川崎市幸区戸手本町 1-150	044-522-0125	全 定	ビジネス教養 普通、商業	
	川崎市立川崎総合科学	212-0002	川崎市幸区小向仲野町 5-1	044-511-7336	全 定	情報工学、総合電気、電子機械、建築工学、デザイン、科学 電気、電子、機械	
川崎市中原区	県立川崎工科	211-0013	川崎市中原区上平間 1700-7	044-511-0114	全	総合技術	
	県立新城	211-0042	川崎市中原区下新城 1-14-1	044-766-7456	全	普通	
	県立住吉	211-0021	川崎市中原区木月住吉町 34-1	044-433-8555	全	普通	
	川崎市立橘	211-0012	川崎市中原区中丸子 562	044-411-2640	全 定	普通、国際、スポーツ 普通	
川崎市高津区	川崎市立高津	213-0011	川崎市高津区久本 3-11-1	044-811-2555	全 定	普通 普通	
川崎市宮前区	県立川崎北	216-0003	川崎市宮前区有馬 3-22-1	044-855-2631	全	普通	
川崎市多摩区	県立多摩	214-0021	川崎市多摩区宿河原 5-14-1	044-911-7107	全	普通	自然科学
	県立向の岡工業	214-0022	川崎市多摩区堰 1-28-1	044-833-5221	全 単定	機械、建設、電気 総合	
	県立生田	214-0035	川崎市多摩区長沢 3-17-1	044-977-3800	全	普通	
	県立百合丘	214-0036	川崎市多摩区南生田 4-2-1	044-977-8955	全	普通	
	県立生田東	214-0038	川崎市多摩区生田 4-32-1	044-932-1211	全	普通	
	県立菅	214-0004	川崎市多摩区菅馬場 4-2-1	044-944-4141	全	普通	
川崎市麻生区	県立麻生総合	215-0023	川崎市麻生区片平 1778	044-987-1750	単全	総合	
	県立麻生	215-0006	川崎市麻生区金程 3-4-1	044-966-7766	全	普通	
相模原市緑区	県立相原	252-0143	相模原市緑区橋本 2-1-58	042-772-0331	全	畜産科学、食品科学、環境土木、商業、国際経済、情報処理	社会福祉
	県立橋本	252-0143	相模原市緑区橋本 8-8-1	042-774-0611	全	普通	
	県立相模原総合	252-0135	相模原市緑区大島 1226	042-761-5055	単全	総合	
	県立城山	252-0116	相模原市緑区城山 1-26-1	042-782-6565	全	普通	
	県立津久井	252-0159	相模原市緑区三ヶ木 272-1	042-784-1053	全 定	普通 普通	
相模原市中央区	県立上溝	252-0243	相模原市中央区上溝 6-5-1	042-762-0008	全	普通	
	県立相模原	252-0242	相模原市中央区横山 1-7-20	042-752-4133	全	普通	
	県立上溝南	252-0243	相模原市中央区上溝 269	042-778-1981	全	普通	
	県立弥栄	252-0229	相模原市中央区弥栄 3-1-8	042-758-4695	単全	国際、芸術、スポーツ科学、理数	
	県立相模田名	252-0244	相模原市中央区田名 6786-1	042-761-3339	全	普通	
相模原市南区	県立神奈川総合産業	252-0307	相模原市南区文京 1-11-1	042-742-6111	単全 単定	総合産業 総合	
	県立麻溝台	252-0329	相模原市南区北里 2-11-1	042-778-2731	全	普通	
	県立上鶴間	252-0318	相模原市南区上鶴間本町 9-31-1	042-743-5622	全	普通	
	県立相模原青陵	252-0325	相模原市南区新磯野 468	042-747-0531	単全	普通	
	県立相模大野	252-0303	相模原市南区相模大野 4-1-1	042-749-1155	全	普通	
横須賀市	県立横須賀	238-0022	横須賀市公郷町 3-109	046-851-0120	全 定	普通 普通	
	県立横須賀大津	239-0808	横須賀市大津町 4-17-1	046-836-0281	全	普通	
	県立横須賀工業	238-0022	横須賀市公郷町 4-10	046-851-2122	全	機械、電気、化学	
	県立海洋科学	240-0101	横須賀市長坂 1-2-1	046-856-3128	単全	海洋科学	
	県立追浜	237-0061	横須賀市夏島町 13	046-865-4174	専攻 全	漁業生産、水産工学、情報通信 普通	
	県立津久井浜	239-0843	横須賀市津久井 4-4-1	046-848-2121	全	普通	
	県立大楠	240-0102	横須賀市荻野 14-1	046-856-0024	全	普通	
	県立横須賀明光	239-0835	横須賀市佐原 4-20-1	046-834-5671	単全	国際、福祉	
	横須賀市立横須賀総合	239-0831	横須賀市久里浜 6-1-1	046-833-4111	単全 単定	総合 総合	
	平塚市	県立平塚江南	254-0063	平塚市諏訪町 5-1	0463-31-2066	全	
県立平塚農業		254-0064	平塚市達上ヶ丘 10-10	0463-31-0944	全	食品科学、園芸科学、生産流通	
県立平塚工科		254-0821	平塚市黒部丘 12-7	0463-31-0417	全	総合技術	
県立高浜		254-0805	平塚市高浜台 8-1	0463-21-0418	全	普通	
県立平塚商業		254-0054	平塚市中里 50-1	0463-31-2385	全	商業、国際経済、情報処理	
県立平塚湘風		254-0013	平塚市田村 3-13-1	0463-55-1532	単全	総合 普通	
県立大原		254-0074	平塚市大原 1-13	0463-34-0370	全	普通	

市区町村	高等学校名	郵便番号	所在地	電話番号	課程	学 科	普通科専門 コース設置校
鎌倉市	県立鎌倉	248-0026	鎌倉市七里ガ浜 2-21-1	0467-32-4851	全	普通	
	県立七里ガ浜	248-0025	鎌倉市七里ガ浜東 2-3-1	0467-32-5457	全	普通	
	県立大船	247-0054	鎌倉市高野 8-1	0467-47-1811	全	普通	
	県立深沢	248-0036	鎌倉市手広 6-4-1	0467-31-6600	全	普通	
藤沢市	県立湘南	251-0021	藤沢市鶴沼神明 5-6-10	0466-26-4151	全 単定	普通 普通	
	県立藤沢西	251-0861	藤沢市大庭 3608-2	0466-87-2150	全	普通	
	県立藤沢工科	252-0803	藤沢市今田 744	0466-43-3402	全	総合技術	
	県立藤沢清流	251-0002	藤沢市大鋸 1450	0466-82-8111	単全	普通	
	県立藤沢総合	252-0801	藤沢市長後 1909	0466-45-5200	単全	総合	
	県立湘南台	252-0805	藤沢市円行 1986	0466-45-6600	全	普通	
小田原市	県立小田原	250-0045	小田原市城山 3-26-1	0465-23-1201	単全 単定	普通 普通	理数
	県立小田原総合ビジネス	250-0003	小田原市東町 4-12-1	0465-34-2847	全	総合ビジネス	
	県立西湖	256-0816	小田原市酒匂 1-3-1	0465-47-2171	全	普通	
	県立小田原城北工業	250-0852	小田原市栢山 200	0465-36-0111	全 定	機械、建設、電気、デザイン 機械、電気	
茅ヶ崎市	県立茅ヶ崎	253-0042	茅ヶ崎市本村 3-4-1	0467-52-2225	全 定	普通 普通	
	県立茅ヶ崎北陵	253-0081	茅ヶ崎市下寺尾 128	0467-51-0311	全	普通	
	県立鶴嶺	253-0084	茅ヶ崎市円蔵 1-16-1	0467-52-6601	全	普通	
	県立茅ヶ崎西浜	253-0061	茅ヶ崎市南湖 7-12869-11	0467-85-0008	全	普通	
逗子市	県立逗子	249-0003	逗子市池子 4-1025	046-871-3218	全	普通	
	県立逗葉	249-0005	逗子市桜山 5-24-1	046-873-7322	全	普通	
三浦市	県立三浦臨海	238-0113	三浦市初声町入江 274-2	046-889-1771	単全	普通	
	県立平塚農業初声分校	238-0114	三浦市初声町和田 3023-1	046-888-1036	定	園芸科学	
秦野市	県立秦野	257-0004	秦野市下大槻 113	0463-77-1422	全	普通	
	県立秦野総合	257-0013	秦野市南が丘 1-4-1	0463-82-1400	単全 単定	総合 総合	
	県立秦野曾屋	257-0031	秦野市曾屋 3613-1	0463-82-4000	全	普通	
厚木市	県立厚木	243-0031	厚木市戸室 2-24-1	046-221-4078	全	普通	スポーツ科学
	県立厚木東	243-0817	厚木市王子 1-1-1	046-221-3158	全	普通	
	県立厚木商業	243-0817	厚木市王子 3-1-1	046-223-6669	全	商業、情報処理、国際経済	
	県立厚木北	243-0203	厚木市下荻野 886	046-241-8001	全	普通	
	県立厚木清南	243-0021	厚木市岡田 1-12-1	046-228-2015	単全 単定 単通	普通 普通 普通	
	県立厚木西	243-0123	厚木市森の里青山 12-1	046-248-1705	全	普通	
大和市	県立大和	242-0002	大和市つきみ野 3-4	046-274-0026	全	普通	
	県立大和南	242-0014	大和市上和田 2557	046-269-5050	全	普通	
	県立大和東	242-0011	大和市深見 1760	046-264-1515	全	普通	
	県立大和西	242-0006	大和市南林間 9-5-1	046-276-1155	全	普通	
伊勢原市	県立伊勢原	259-1142	伊勢原市田中 1008-3	0463-95-2578	全 定	普通 普通	
	県立伊志田	259-1116	伊勢原市石田 1356-1	0463-93-5613	全	普通	
海老名市	県立中央農業	243-0422	海老名市中新田 4-12-1	046-231-5202	全	園芸科学、畜産科学、生産流通	外国語
	県立海老名	243-0422	海老名市中新田 1-26-1	046-232-2231	全	普通	
	県立有馬	243-0424	海老名市社家 240	046-238-1333	全	普通	
座間市	県立座間	252-0024	座間市入谷 2-262	046-253-2011	全	普通	
	県立座間総合	252-0013	座間市栗原 2487	046-253-2920	単全	総合	
	県立相模向陽館	252-0003	座間市ひばりが丘 3-58-1	046-298-3455	単定	普通	
南足柄市	県立足柄	250-0106	南足柄市怒田 860	0465-73-0010	全	普通	
綾瀬市	県立綾瀬	252-1134	綾瀬市寺尾南 1-4-1	0467-76-1400	全	普通	福祉教養
	県立綾瀬西	252-1123	綾瀬市早川 1485-1	0467-77-5121	全	普通	
寒川町	県立寒川	253-0111	高座郡寒川町一之宮 9-30-1	0467-74-2312	全	普通	
大磯町	県立大磯	255-0002	中郡大磯町東町 2-9-1	0463-61-0058	全	普通	
二宮町	県立二宮	259-0134	中郡二宮町一色 1363	0463-71-3215	全	普通	
大井町	県立大井	258-0017	足柄上郡大井町西大井 984-1	0465-83-4101	全	普通	
山北町	県立山北	258-0111	足柄上郡山北町向原 2370	0465-75-0828	全	普通	体育
開成町	県立吉田島総合	258-0021	足柄上郡開成町吉田島 281	0465-82-0151	単全	総合	
愛川町	県立愛川	243-0308	愛甲郡愛川町三増 822-1	046-286-2871	全	普通	

注 「全」は全日制、「定」は定時制、「通」は通信制、「単」は単位制

神奈川県公立高等学校にかかる諸経費等

平成22年12月1日現在

(1) 受検料

区 分	県 立	横 浜 市 立	川 崎 市 立	横 須 賀 市 立
全日制の課程	2,200円	2,200円	2,200円	2,200円
定時制の課程	950円	650円	950円	950円
通信制の課程	無 料			

(2) 入学料

区 分	県 立	横 浜 市 立	川 崎 市 立	横 須 賀 市 立
全日制の課程	5,650円	5,650円	5,650円	5,650円
定時制の課程	2,100円	1,200円	2,100円	2,100円
通信制の課程	無 料			

※ これ以外にも、生徒会費やPTA会費などの経費がかかります。

※ 県立、横浜市立、川崎市立、横須賀市立の高等学校では、支払いが困難な方に受検料、入学料の全部又は一部を免除する制度があります。詳しいことは、先生に相談してください。

※ 平成22年4月から国の政策により、公立高等学校の授業料（専攻科・別科を除く）は、原則徴収しないことになりました。そのため、入学後に授業料を納める必要はなく、手続等も一切ありません。

(3) 上記に関する問い合わせ先

上記については、各学校または下記の所属にお問い合わせください。

区 分	所 属 名	電話番号
県 立	神奈川県教育委員会教育局企画調整部学校経理課	(045) 210-8113 (直通)
横 浜 市 立	横浜市教育委員会事務局指導部高校教育課	(045) 671-3272 (直通)
川 崎 市 立	川崎市教育委員会総務部学事課	(044) 200-3267 (直通)
横 須 賀 市 立	横須賀市教育委員会生涯学習部学校教育課	(046) 822-8480 (直通)

こうほ
公募を行う県内の私立高等学校一覧

平成22年6月現在

所在地	学校名	課程学科	男女	問合せ先	所在地	学校名	課程学科	男女	問合せ先
横浜市鶴見区	白鵬女子	普	女	045-581-6721	相模原市南区	相模女子大学	普	女	042-742-1442
	橘学苑	普	共	581-0063		(光明学園)相模原	普	共	778-3333
	鶴見大学附属	普	共	581-6325		東海大学付属相模	普	共	742-1251
	法政大学女子	普	女	571-4663	中央区	麻布大学附属淵野辺	普	共	757-2403
神奈川区	横浜創英	普	共	421-3121	横須賀市	湘南学院	普	共	046-828-3433
中区	中央大学横浜山手	普	女	641-0061		三浦学苑	普、工	共	852-0284
保土ヶ谷区	横浜清風	普	共	731-4361		緑ヶ丘女子	普	女	822-1651
旭区	横浜商科大	普、商	共	951-2246		横須賀学院	普	共	822-3218
磯子区	横浜学園	普	共	751-6941	平塚市	平塚学園	普	共	0463-22-0137
金沢区	横浜	普	男	781-3396	鎌倉市	鎌倉学園	普	男	0467-22-0994
港北区	横浜創学館	普、科技	共	781-0631		北鎌倉女子学園	普、音	女	22-6900
	慶應義塾	普	男	566-1381	鎌倉女子大学	普	女	44-2113	
	高木学園女子	普、情他	女	431-8188	藤沢市	沼	普	共	0466-22-4783
	日本大学	普	共	560-2600	湘南工科大学附属	普	共	34-4114	
緑区	武相	普	男	401-9042	日本大学藤沢	普	共	81-0123	
	清心女子	通	女	421-8864	藤嶺学園藤沢	普	男	23-3150	
	横浜国際女学院翠陵	普	女	921-0301	藤沢翔陵	普、商	男	81-3456	
	平成23年度より、横浜翠陵高等学校に名称変更し、男女共学となります。				小田原市	旭丘	普、総	共	0465-24-2227
青葉区	星	普	共	981-1853	相洋	普、商	共	22-0211	
	桐蔭学園	普	共	971-1411	湘南ライナス学園※	普	共	24-1131	
栄区	山手学院	普	共	891-2111	茅ヶ崎市	アレセイア湘南	普	共	0467-87-0132
		理数	男		逗子市	聖和学院	普、英	女	046-871-2670
泉区	秀通	普	男	806-2100	厚木市	厚木中央	通	共	046-221-5678
瀬谷区	横浜隼人	普、国	共	364-5101	大和市	聖セシリア女子	普	女	046-275-3727
川崎市	大西学園	普、共、商、家	共	044-22-2332	柏木学園	普、通	共	260-9011	
中原区	法政大学第二	普	男	711-4321	伊勢原市	向	普	共	0463-96-0411
多摩区	日本女子大附属	普	女	952-6711	松田町	立花学園	普	共	0465-83-1081
麻生区	桐光学園	普	共	987-0519	箱根町	函嶺白百合学園	普	女	0460-87-6611

- 注1 課程学科欄の「通」は通信制で、それ以外はすべて全日制です。
 注2 課程学科欄の「普」は普通、「商」は商業、「科技」は科学技術、「情」は情報、「国」は国際、「家」は家庭、「音」は音楽、「工」は工業、「総」は総合、「英」は英語の各学科です。
 注3 課程学科欄の「他」は、この他にも学科があることを表しています。
 注4 学校名欄の「※」は、入学資格として不登校や学習障害等の一定の条件があることを示しています。

公募を行う県内の専修学校高等課程一覧 平成23年4月1日現在(見込)

3年制							
学校名	郵便番号	所在地	電話番号	分野	学科	男女	
厚木高等専修学校	243-0032	厚木市恩名1-17-18	046(221)5678	工業	工業技術学科	共	
				服飾家政	生活造形学科	共	
岩谷学園高等専修学校	220-0023	横浜市西区平沼1-38-19	045(324)5867	商業実務	メディア・情報科	共	
大和商业高等専修学校	242-0012	大和市深見東1-1-9	046(262)0122	商業実務	総合ビジネス科	共	
生蘭高等専修学校	252-1136	綾瀬市寺尾西3-11-1	0467(76)1616	商業実務	総合ビジネス科	共	
横浜デザイン学院	220-0051	横浜市西区中央1-33-6	045(323)0300	文化教養	デザイン科	共	
ヨコスカ調理師専門学校	238-0042	横須賀市汐入町2-9	046(826)3848	衛生	調理師普通科	共	
アイム湘南美容教育専門学校	257-0011	秦野市尻尾536-1	0463(85)3780	衛生	美容科	共	
専門学校国際新堀芸術学院	251-0052	藤沢市藤沢143-13	0466(23)8338	文化教養	音楽科	共	
2年制昼間							
学校名	郵便番号	所在地	電話番号	分野	学科	男女	
小田原看護専門学校	250-0014	小田原市内1-22	0465(22)4765	医療	准看護学科	共	
社団法人川崎市医師会附属准看護学校	210-0012	川崎市川崎区宮前町8-3	044(222)0999	医療	准看護科	共	
横浜市医師会看護専門学校	222-0011	横浜市港北区菊名4-4-22	045(433)2305	医療	准看護学科	共	
1年制及び夜間							
学校名	郵便番号	所在地	電話番号	分野	学科	男女	
厚木調理師学校	243-0018	厚木市中町2-2-19	046(221)0719	衛生	調理学科	共	
相模原調理師専門学校	252-0239	相模原市中央区中央5-8-1	042(758)0850	衛生	調理師養成科	共	
ヨコスカ調理師専門学校	238-0042	横須賀市汐入町2-9	046(826)3848	衛生	調理師本科	共	
横浜調理師専門学校	221-0835	横浜市神奈川区鶴見町3-31-4	045(311)4126	衛生	調理師科	共	
横浜理容美容専門学校	222-0001	横浜市港北区樽町2-6-11	045(541)0567	衛生	理容科	共	
国際フード製菓専門学校	220-0003	横浜市西区楠町14-4	045(313)4411	衛生	製菓製パン科	共	

県内の特別支援学校一覧

平成23年4月1日現在（見込）

学 校 名	電話番号	郵便番号	所 在 地	視	聴	知	肢	病	幼	小	中	高	専
1 県立平塚盲学校	0463-31-0948	254-0047	平塚市追分 10-1	○					○	○	○	○	○
2 横浜市立盲特別支援学校	045-431-1629	221-0005	横浜市神奈川区松見町 1-26	○					○	○	○	○	○
3 学校法人横浜訓盲学院	045-641-2626	231-0847	横浜市中区竹之丸 181	○					○	○	○	○	○
4 県立平塚ろう学校	0463-32-0129	254-0074	平塚市大原 2-1		○				○	○	○	○	○
5 横浜市立ろう特別支援学校	045-335-0411	240-0067	横浜市保土ヶ谷区常盤台 81-1		○				○	○	○	○	○
6 川崎市立聾学校	044-766-6500	211-0053	川崎市中原区上小田中 3-10-5		○				○	○	○	○	○
7 横須賀市立ろう学校	046-834-1172	238-0023	横須賀市森崎 5-13-1		○				○	○	○	○	○
8 県立鶴見養護学校	045-573-4787	230-0071	横浜市鶴見区駒岡 4-40-1			○				○	○	○	○
分教室〔岸根高校内〕	045-439-3050	222-0034	横浜市港北区岸根町 370			○							○
9 県立横浜南養護学校	045-712-4046	232-0066	横浜市南区六ツ川 2-138-4				○		○	○	※		
県立保土ヶ谷養護学校	045-714-0126	240-0026	横浜市保土ヶ谷区権太坂 1-8-1			○				○	○	○	○
10 分教室〔舞岡高校内〕	045-823-9654	244-0814	横浜市戸塚区南舞岡 3-36-1			○							○
分教室〔横浜平沼高校内〕	045-328-2010	220-0073	横浜市西区岡野 1-5-8			○							○
11 県立金沢養護学校	045-770-0456	236-0051	横浜市金沢区富岡東 2-6-1			○	○			○	○	○	○
分教室〔水取沢高校内〕	◇	235-0043	横浜市磯子区水取沢町 938-2			○							○
12 県立みどり養護学校	045-471-7941	226-0002	横浜市緑区東本郷 5-18-1			○				○	○	○	○
分教室〔新栄高校内〕	045-591-6443	224-0035	横浜市都筑区新栄町 1-1			○							○
13 県立瀬谷養護学校	045-302-1616	246-0005	横浜市瀬谷区竹村町 28-1			○							○
分教室〔大和東高校内〕	046-264-2061	242-0011	大和市深見 1760			○	○						○
14 県立三ツ境養護学校	045-365-3711	246-0021	横浜市瀬谷区二ツ橋町 468			●	○			○	○	○	○
分教室〔瀬谷西高校内〕	045-300-0052	246-0004	横浜市瀬谷区中屋敷 2-2-5			○							○
15 県立中原養護学校	044-755-1632	211-0035	川崎市中原区井田 3-13-1			●	○			○	○	○	○
分教室〔住吉高校内〕	044-430-1016	211-0021	川崎市中原区木月住吉町 34-1			○							○
16 県立高津養護学校	044-865-0477	213-0035	川崎市高津区向ヶ丘 16			○							○
分教室〔生田東高校内〕	044-931-1020	214-0038	川崎市多摩区生田 4-32-1			○							○
分教室〔川崎北高校内〕	◇	216-0003	川崎市宮前区有馬 3-22-1			○							○
17 県立麻生養護学校	044-980-4850	215-0013	川崎市麻生区王禅寺 303-1			○	○			○	○	○	○
分教室〔元石川高校内〕	045-300-0052	225-0004	横浜市青葉区元石川 4116			○							○
18 県立相模原養護学校	042-778-0331	229-0016	相模原市南区当麻 814			○				○	○	○	○
分教室〔橋本高校内〕	042-700-1621	229-1103	相模原市緑区橋本 8-8-1			○							○
19 県立津久井養護学校	042-684-4860	229-0105	相模原市緑区若柳 44			○	○			○	○	○	○
20 県立相模原中央支援学校	◇	252-0221	相模原市中央区高根 1-5-36	○	○	○	○		○	○	○	○	○
21 県立武山養護学校	046-856-5800	238-0313	横須賀市武 3-35-1			○	○			○	○	○	○
分教室〔津久井浜高校内〕	046-848-2137	239-0843	横須賀市津久井 4-4-1			○							○
22 県立岩戸養護学校	046-839-4500	239-0844	横須賀市岩戸 5-6-5			○	○						○
23 県立平塚養護学校	0463-58-0456	259-1215	平塚市寺田縄 590			○	○			○	○	○	○
24 県立湘南養護学校	0463-34-7212	254-0061	平塚市御殿 4-14-1			○				○	○	○	○
25 県立鎌倉養護学校	0467-45-1482	247-0075	鎌倉市関谷 566			●	○			○	○	○	○
分教室〔金井高校内〕	045-852-4722	244-0845	横浜市栄区金井町 100			○							○
26 県立藤沢養護学校	0466-82-8101	252-0813	藤沢市亀井野 2547-19			○				○	○	○	○
27 県立小田原養護学校	0465-37-2755	250-0865	小田原市蓮正寺 1021			○				○	○	○	○
分教室〔大井高校内〕	◇	258-0017	足柄上郡大井町西大井 984-1			○							○
28 県立茅ヶ崎養護学校	0467-57-5379	253-0083	茅ヶ崎市西久保 29-1			○	○			○	○	○	○
29 県立秦野養護学校	0463-81-0948	257-0025	秦野市落合 500					○		○	○	※	
30 県立伊勢原養護学校	0463-93-7916	259-1116	伊勢原市石田 1390			○				○	○	○	○
31 県立座間養護学校	046-255-2251	228-0024	座間市入谷 2-314-1			●	○			○	○	○	○
分教室〔有馬高校内〕	046-238-1349	243-0424	海老名市社家 240										○
分教室〔相模向陽館高校内〕	046-298-0038	228-0003	座間市ひばりが丘 3-58-1			○							○
32 横浜市立港南台ひの特別支援学校	045-830-5826	234-0054	横浜市港南区港南台 5-3-2			○				○	○	○	○
33 横浜市立本郷特別支援学校	045-894-2952	247-0007	横浜市栄区小菅ヶ谷 3-37-12			○				○	○	○	○
34 横浜市立日野中央高等特別支援学校	045-844-3015	234-0053	横浜市港南区日野中央 2-25-3			○							○
35 横浜市立二ツ橋高等特別支援学校	045-391-2131	246-0021	横浜市瀬谷区二ツ橋町 470			○							○
36 横浜市立上菅田特別支援学校	045-382-0420	240-0051	横浜市保土ヶ谷区上菅田町 462			○	○			○	○	○	○
37 横浜市立中村特別支援学校	045-261-9863	232-0033	横浜市南区中村町 4-269-1			○				○	○	○	○
38 横浜市立北綱島特別支援学校	045-545-0126	223-0053	横浜市港北区綱島西 5-14-54							○	○	○	○
39 横浜市立新治特別支援学校	045-934-0665	226-0017	横浜市緑区新治町 768					○		○	○	○	○
40 横浜市立東俣野特別支援学校	045-851-9631	245-0065	横浜市戸塚区東俣野町 1103-1					○		○	○	○	○
41 横浜市立浦舟特別支援学校	045-243-2624	232-0024	横浜市南区浦舟町 3-46 浦舟福祉施設 11 階					○		○	○	○	○
42 川崎市立養護学校	044-844-1275	213-0011	川崎市高津区久本 3-7-1			○				○	○	○	○
分教室〔川崎市立聾学校内〕	◇	211-0053	川崎市中原区上小田中 3-10-5			○							○
43 川崎市立田島養護学校	044-355-1240	210-0853	川崎市川崎区田島町 20-5			○				○	○	○	○
44 横須賀市立養護学校	046-849-6465	239-0844	横須賀市岩戸 5-6-4				○			○	○	○	○
45 藤沢市立白浜養護学校	0466-33-1500	251-0046	藤沢市辻堂西海岸 1-2-2			○				○	○	○	○
46 学校法人聖坂学院聖坂養護学校	045-622-2974	231-0862	横浜市中区山手町 140			○				○	○	○	○
47 筑波大学附属久里浜特別支援学校	046-848-3441	239-0841	横須賀市野比 5-1-2			○			○	○	○	○	○
48 横浜国立大学教育人間科学部附属特別支援学校	045-742-2291	232-0061	横浜市南区大岡 2-31-3			○				○	○	○	○

注 幼（幼稚園）、小（小学部）、中（中学部）、高（高等部）、専（専攻科）の略
 注 ●知的障害教育部門は高等部のみ
 注 ※秦野養護学校、横浜南養護学校の高等部は訪問教育のみ
 注 ◇新設した特別支援学校及び分教室の電話番号については、4月1日以前のとりまとめのため、未記入

県立中等教育学校一覧

平成22年12月1日現在

市町村区	学校名	郵便番号	所在地	電話番号
相模原市南区	相模原中等教育学校	252-0303	相模原市南区相模大野4-1-1	042-749-1279
平塚市	平塚中等教育学校	254-0074	平塚市大原1-13	0463-34-0320

県立職業技術校等一覧

平成22年12月1日現在

名称	郵便番号	所在地	電話番号	訓練期間		
				6ヶ月	1年	2年
東部総合職業技術校 (かなテクカレッジ)	230-0034	横浜市鶴見区寛政町28-2	045-504-2800	○	○	○
平塚高等職業技術校	254-0016	平塚市東八幡4-19-4	0463-23-1922	○	○	
藤沢高等職業技術校	251-0015	藤沢市川名290-2	0466-25-2425			○
小田原高等職業技術校	250-0034	小田原市板橋726-1	0465-23-2275	○		
秦野高等職業技術校	257-0031	秦野市曾屋1210	0463-81-0870	○	○	○
神奈川障害者職業能力開発校	252-0315	相模原市南区桜台13-1	042-744-1243		○	○

※訓練期間が2年及び1年の一部のコースは、新規に中学校を卒業される方は応募できません。

県内のハローワーク所在地一覧

(ハローワークとは公共職業安定所の愛称です。)

所名	所在地	管轄区域
ハローワーク横浜	〒231-0005 横浜市中区本町3-30 TEL 045(663)8609	横浜市のうち神奈川区、西区、中区、南区、港南区、保土ヶ谷区、旭区、磯子区
	〒220-0004 横浜市西区北幸1-11-15 横浜STビル TEL 045(410)1010	ハローワークプラザ
横浜港労働出張所	〒231-0002 横浜市中区海岸通4-23 TEL 045(201)2031	日雇労働者の方専門のハローワークです
ハローワーク港北	〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-24-6 横浜港北地方合同庁舎 TEL 045(474)1221	横浜市のうち港北区、緑区、青葉区、都筑区
ハローワーク戸塚	〒244-8560 横浜市戸塚区戸塚町3722 TEL 045(864)8609	横浜市のうち戸塚区、泉区、瀬谷区、栄区
ハローワーク横浜南	〒236-8609 横浜市金沢区寺前1-9-6 TEL 045(788)8609	横浜市のうち金沢区、横須賀市の一部、逗子市、三浦郡
ハローワーク川崎	〒210-0015 川崎市川崎区南町17-2 TEL 044(244)8609	川崎市のうち川崎区、幸区、横浜市のうち鶴見区
ハローワーク川崎北	〒213-8573 川崎市高津区千年698-1 TEL 044(777)8609	川崎市のうち中原区、高津区、多摩区、宮前区、麻生区
ハローワーク相模原	〒252-0236 相模原市中央区富士見6-10-10 相模原地方合同庁舎 TEL 042(776)8609	相模原市
ハローワーク横須賀	〒238-0013 横須賀市平成町2-14-19 TEL 046(824)8609	横須賀市の一部、三浦市
ハローワーク藤沢	〒251-0054 藤沢市朝日町5-12 藤沢労働総合庁舎 TEL 0466(23)8609	藤沢市、茅ヶ崎市、高座郡、鎌倉市
ハローワーク平塚	〒254-8578 平塚市松風町2-7 TEL 0463(24)8609	平塚市、伊勢原市、中郡
ハローワーク小田原	〒250-0012 小田原市本町1-2-17 TEL 0465(23)8609	小田原市、足柄下郡
ハローワーク厚木	〒243-0003 厚木市寿町3-7-10 TEL 046(296)8609	厚木市、海老名市、座間市、愛甲郡
ハローワーク大和	〒242-0018 大和市深見西3-3-21 TEL 046(260)8609	大和市、綾瀬市
ハローワーク松田	〒258-0003 足柄上郡松田町松田惣領2037 TEL 0465(82)8609	秦野市、南足柄市、足柄上郡

ハローワークに関する案内のアドレス <http://www.kana-rou.go.jp/users/antei/shokuan.html>

県内の教育相談機関

平成23年4月1日現在

1 市町村の主な相談機関

市町村名	相談機関名	住 所	電 話
横 浜 市	横浜市教育委員会教育総合相談センター いじめ110番	横浜市中区万代町1-1	045-671-3726 0120-671-388
川 崎 市	総合教育センター	川崎市高津区溝口6-9-3 (溝口相談室) 川崎市幸区塚越1-60 (塚越相談室)	044-844-3700 044-541-3633
相 模 原 市	青少年相談センター	相模原市中央区中央3-13-13 (センター) 相模原市南区相模大野5-31-1 (南相談室) 相模原市緑区久保沢1-3-1 (城山相談室) 相模原市緑区与瀬896 (相模湖相談室)	042-752-1658 042-749-2177 042-783-6188 042-682-7020
横 須 賀 市	こども青少年支援課	横須賀市小川町16 (はぐくみかん5階)	046-823-3152
鎌 倉 市	教育センター相談室	鎌倉市御成町18-35	0467-24-3495
藤 沢 市	学校教育相談センター 子ども青少年相談課	藤沢市善行7-7-24 藤沢市朝日町1-1	0466-90-0660 0466-50-3569
茅ヶ崎 市	教育センター青少年教育相談室	茅ヶ崎市十間坂3-5-37	0467-86-9963
逗 子 市	教育研究所	逗子市桜山5-20-29	046-872-9498 046-872-2898
三 浦 市	教育相談室・相談指導教室	三浦市原町15-29	046-881-3380
葉 山 町	教育研究所	葉山町堀内2050-9	046-875-7295 教育相談電話 046-875-7296
寒 川 町	寒川町民センター内 教育研究室	寒川町宮山165	0467-73-4639
大 和 市	青少年相談室	大和市中央1-5-14	046-260-5040
海 老 名 市	青少年相談センター	海老名市上郷474-4	046-234-8700
座 間 市	教育研究所教育相談	座間市緑ヶ丘1-1-1	046-259-2164
綾 瀬 市	教育研究所教育相談	綾瀬市早川550	0467-79-0222
平 塚 市	子ども教育相談センター 青少年相談室	平塚市浅間町4-39 平塚市見附町15-1	教育相談電話 0463-36-6013 0463-34-7311
秦 野 市	健康子育て課こども家庭相談班	秦野市緑町16-3	0463-82-5273
伊 勢 原 市	教育センター教育相談	伊勢原市田中316-1	0463-95-2211
大 磯 町	教育研究所教育相談	大磯町西小磯286	0463-60-3670
二 宮 町	教育研究所・教育支援室「やまびこ」	二宮町二宮961	0463-72-2883
南 足 柄 市	教育研究所教育相談	南足柄市関本440	0465-73-8061
中 井 町	教育委員会教育相談 教育支援センター「たんぼぼ教室」	中井町比奈窪56 中井町井ノ口1843-1	0465-81-3906 0465-80-0080
大 井 町	教育委員会教育相談	大井町金子1995	0465-85-5015
松 田 町	教育委員会教育相談	松田町松田惣領2037	0465-83-7023
山 北 町	教育委員会教育相談	山北町山北1301-4	0465-75-3648
開 成 町	教育委員会教育相談	開成町延沢773	0465-82-5221
小 田 原 市	教育指導課教育相談	小田原市荻窪300	0465-33-1729
箱 根 町	教育支援室	箱根町湯本266	0120-110-993
真 鶴 町	教育支援センター	真鶴町岩172-8	0465-68-1920
湯 河 原 町	青少年相談室 学校教育課教育相談	湯河原町中央2-21-3 湯河原町中央2-21-3	0465-63-6300 0465-62-1100
厚 木 市	青少年教育相談センター	厚木市中町3-16-1	046-221-8080
愛 川 町	教育開発センター	愛川町角田251-1	046-206-1061
清 川 村	教育委員会事務局学校教育係	清川村煤ヶ谷2216	046-288-1215

2 県の主な相談機関

相談機関名	住 所	電 話
県立総合教育センター (亀井野庁舎) 教育相談 いじめ110番	藤沢市亀井野2547-4	0466-81-0185 0466-81-8111

活動の記録



第1学年

学級活動

委員会活動

部活動

その他

第2学年

学級活動

委員会活動

部活動

その他

第3学年

学級活動

委員会活動

部活動

その他

平成23年度 わたくしたちの生活と進路

発 行
発 行 者
編集責任者
印 刷 所

平成23年3月
神奈川県教育委員会
子ども教育支援課長 笠原陽子
有限会社 ハマ印刷
電話 045-260-0266

学校名		学年	クラス
		1年	組
名 前		2年	組
		3年	組